

FOMAユビキタスモジュール
(FOMA UM02-KO)
及び
専用アダプタセット用
「モデムセットアップ情報ファイル」
(UM02-KO.INF)

設 定 手 順 書

株式会社 日立国際電気

著作権・免責事項について

- 著作権について

本取扱説明書およびモデムセットアップ情報ファイル（UM02-KO.INF）の著作権は株式会社日立国際電気に帰属します。株式会社日立国際電気の許可なく、取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改変、公衆送信することは、著作権法上、禁止されております。お客様は、モデムセットアップ情報ファイル（UM02-KO.INF）のご使用のために、ダウンロードした取扱説明書を1部のみプリントアウトすることができます。

- 免責事項について

本取扱説明書およびモデムセットアップ情報ファイル（UM02-KO.INF）は、お客様の責任においてご使用ください。本取扱説明書およびモデムセットアップ情報ファイル（UM02-KO.INF）の使用によって生じた損害等について、株式会社日立国際電気は一切その責任を負わないこととします。

登録商標・商標について

本書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」はNTTドコモの登録商標です。
- Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。（Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。）
- HayesはHayes Microcomputer Products（米国）の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

Windows の表記について

- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

ダイヤルアップ接続完了までの流れ

FOMA ユビキタスモジュール (FOMA UM02-KO) を使用して PC からダイヤルアップ接続を行うには以下の作業が必要です。

本手順書では6から8の手順について説明しています。

1. FOMA UM02-KO と FOMA UM02-KO 接続用治具を接続する
2. PC (パソコン) に高速シリアルを導入し利用可能にする
3. FOMA UM02-KO 接続用治具と PC を接続する
4. PC と FOMA UM02-KO の DTE 速度を設定する
5. AT コマンドが使用できることを確認し、FOMA UM02-KO に APN の登録を行う
6. PC に FOMA UM02-KO をモデムとしてインストールする
7. PC にダイヤルアップ接続プロファイルを作成する
8. モデム設定・接続プロファイルの設定および確認を行う

1 から5までの作業はそれぞれ、「FOMA ユビキタスモジュール (FOMA UM02-KO) 取扱説明書」、「FOMA ユビキタスモジュール (FOMA UM02-KO) 接続用治具取扱説明書」並びに高速シリアルカード (アダプタ) の取扱説明書 (カード付属) を確認してください。

なお、この後の記述では「FOMA ユビキタスモジュール (FOMA UM02-KO) 取扱説明書」を「FOMA UM02-KO 取扱説明書」、「FOMA ユビキタスモジュール (FOMA UM02-KO) 接続用治具取扱説明書」を「FOMA UM02-KO 接続用治具取扱説明書」と表記いたします。あらかじめご了承ください。

対応する OS について

FOMA ユビキタスモジュール (FOMA UM02-KO) を PC で使用するためには、PC に次のいずれかの日本語版 OS がインストールされている必要があります。

Windows XP/Windows2000

本マニュアルでは、Windows XP にて使用する場合を例に設定方法を説明いたします。

また、インストール・設定は「コンピュータの管理者」(Administrator グループ) のアカウントで行ってください。

PC 上でのデバイス表示について

インストール後、FOMA ユビキタスモジュール (FOMA UM02-KO) は「FOMA UM02-KO 接続用治具」もしくは「FOMA UM02-KO 専用アダプタ」どちらを使用した場合でも、デバイス上同一のモデムとして認識されます。

本手順書では、これらを合わせて「モデム (FOMA UM02-KO)」と表記いたします。

高速シリアルカード（アダプタ）について

モデム(FOMA UMO2-KO)を利用して 230.4kbps もしくは 460.8kbps の高速通信を行う場合、PC に高速シリアルカード（アダプタ）を導入しておく必要があります。導入方法については、高速シリアルカード（アダプタ）の取扱説明書（カード付属）を確認してください。

※ PC 標準のシリアルインタフェースは 115.2kbps までの通信速度になります。

- 高速シリアルカード（アダプタ）の PC への接続先（USB の場合挿入する USB コネクタの場所、PCMCIA の場合挿入するスロットの位置）を変更すると、ドライバの再インストール、COM ポートが変更になる場合があります。一度インストールを行ったら、同じ接続先（USB コネクタ・スロット位置）で利用することをお勧めします。

確認事項

- 治具－モジュール間のフレキケーブルは確実に接続しましたか？
→フレキケーブルの白いラインがコネクタのロックを行った時に隠れるまで挿入する必要があります。挿入方法は「FOMA UMO2-KO 接続用治具取扱説明書」を確認してください。
- 高速シリアルカード（アダプタ）の導入（インストール）は終わっていますか？
→使用する高速シリアルカード（アダプタ）が PC で COM ポートとして認識できている必要があります。詳しくは使用する高速シリアルカード（アダプタ）の取扱説明書（カード付属）を確認してください。
- 治具－PC 間の接続は正しく行えていますか？
→PC から AT コマンドの入力が行える状態にある必要があります。詳しくは「FOMA UMO2-KO 取扱説明書」および「FOMA UMO2-KO 接続用治具取扱説明書」を確認してください。
- APN の登録は行ってありますか？
→出荷状態のモデム（FOMA UMO2-KO）には APN は登録されていません。確認及び登録は「FOMA UMO2-KO 取扱説明書」を確認してください。

以上の確認を行った後、モデム（FOMA UMO2-KO）のインストール及びダイヤルアップ接続プロファイルの作成に進んでください。

1. モデム（FOMA UM02-KO）のインストール方法

※あらかじめ「モデムセットアップ情報ファイル（UM02-KO.INF）」を用意してください。

※230.4kbps もしくは 460.8kbps の高速通信を使用する場合には、インストールする PC において高速シリアルインタフェースが使用可能な状態にしておいてください。

（PC 標準のシリアルインタフェースでは 115.2kbps までになります。）

「スタート」→「コントロールパネル」を順にクリックし、コントロールパネルを表示させます。表示されたコントロールパネルにおいて、「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします（図 1.1）。

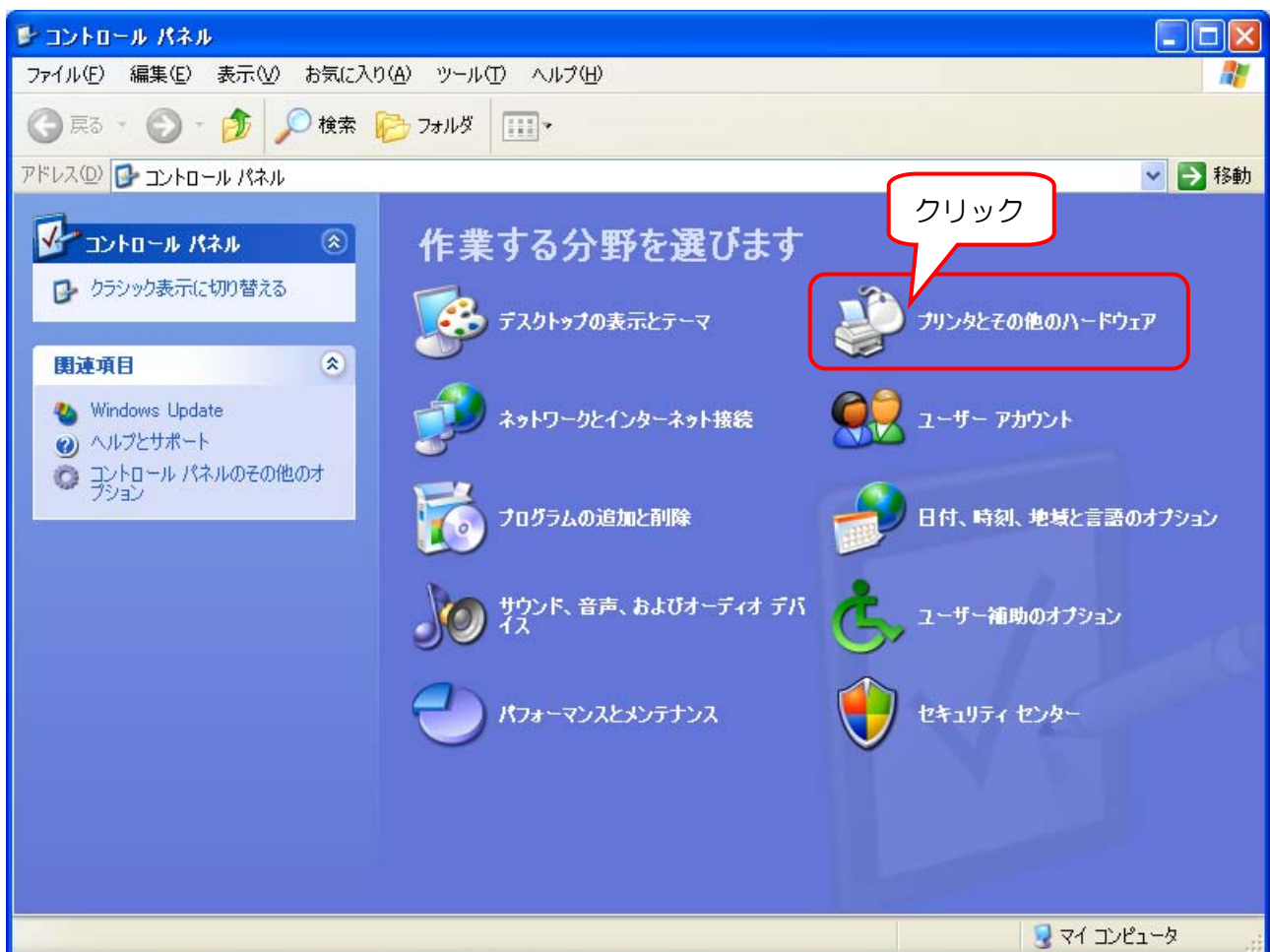


図 1.1

「プリンタとその他のハードウェア」が表示されますので、続けて「電話とモデムのオプション」をクリックします（図 1.2）。

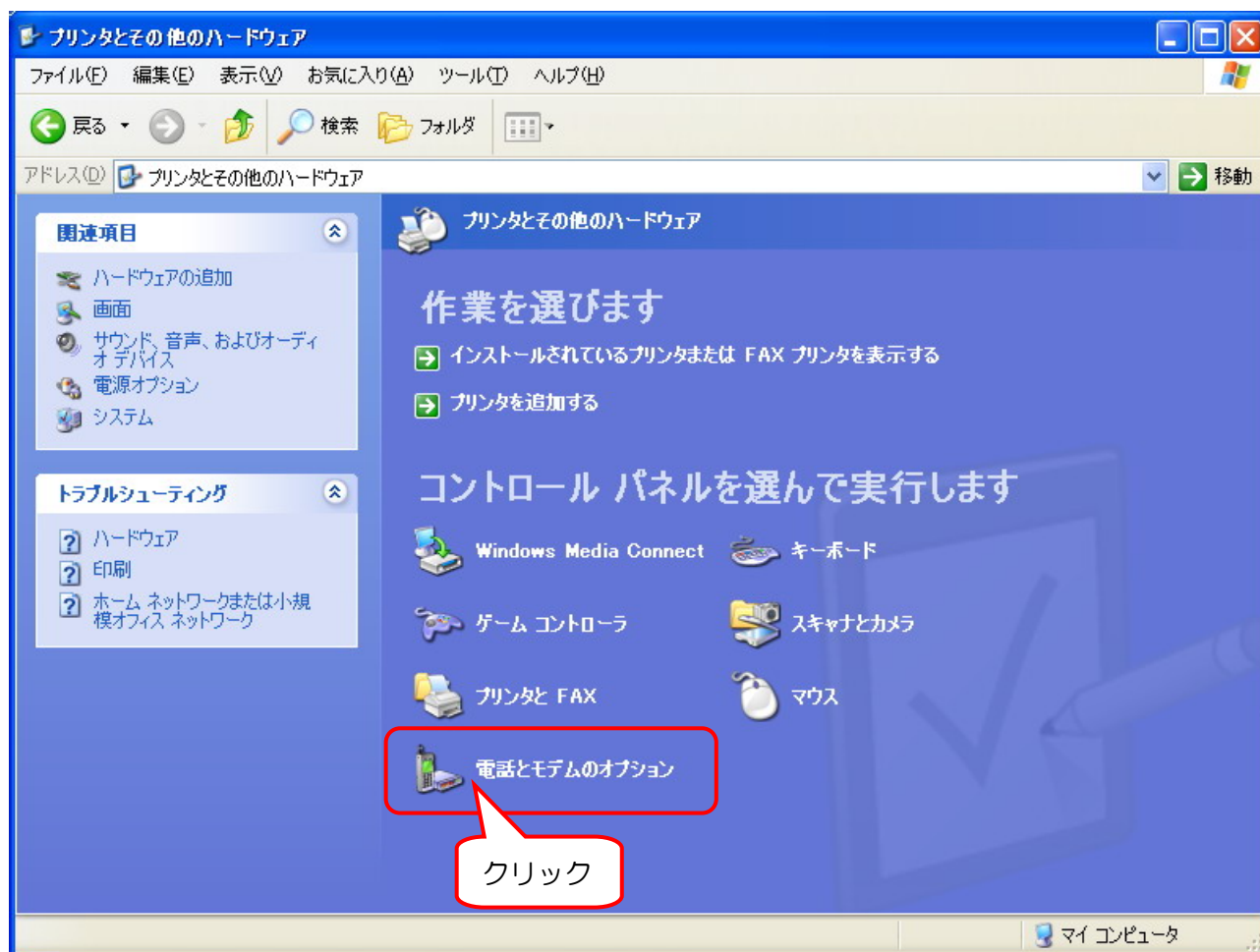


図 1.2

「電話とモデムのオプション」が表示されますので、「モデム」タブを表示させ「追加」ボタンをクリックして「ハードウェアの追加ウィザード」を表示させます（図 1.3）。

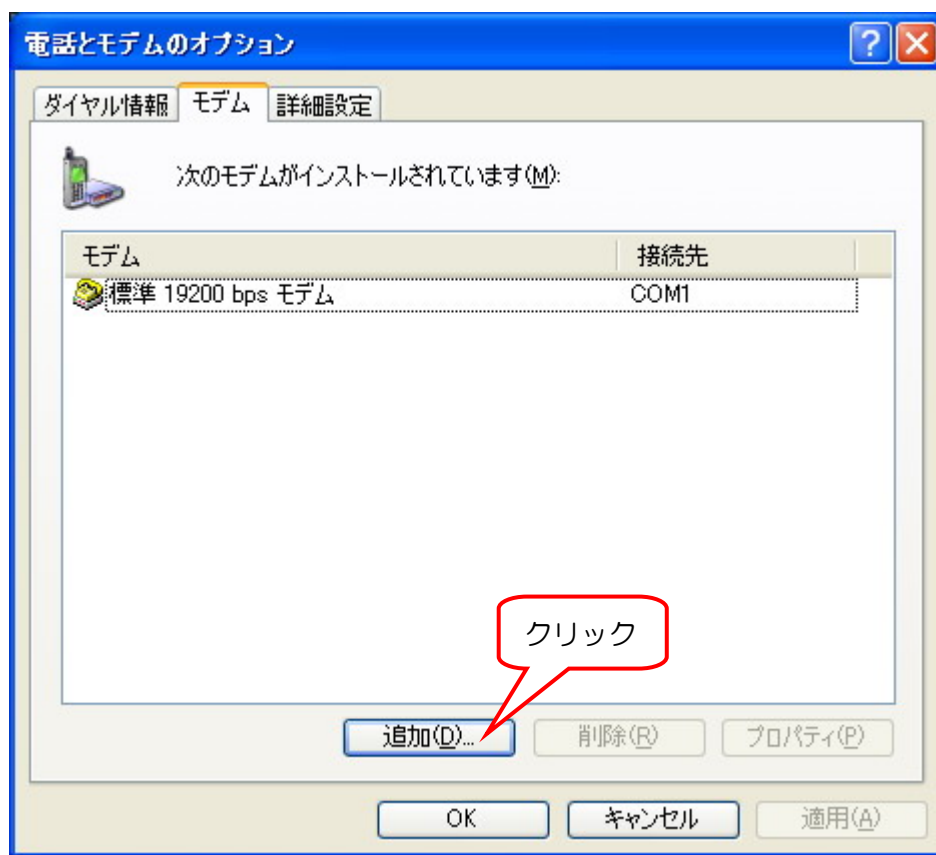


図 1.3

「**モデムを一覧から選択するので検出しない**」にチェックをし、「次へ」をクリックしてください。

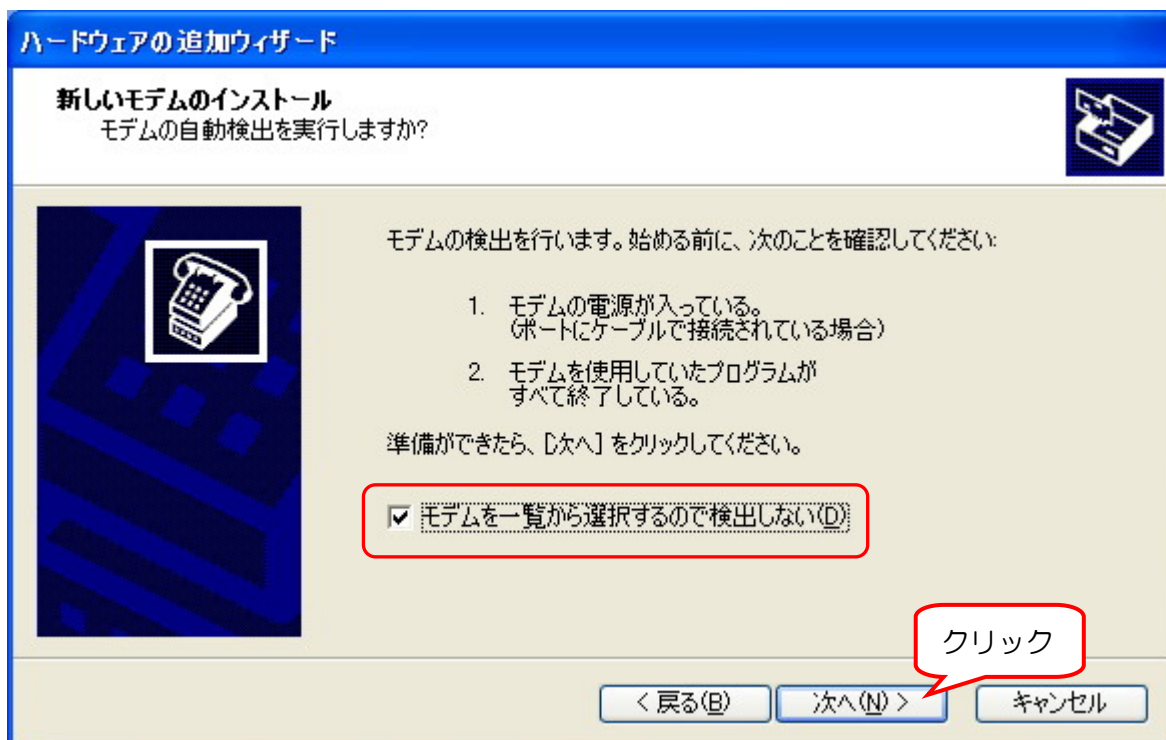


図 1.4

モデムのインストールには「モデムセットアップ情報ファイル」を利用しますので、「ディスク使用」ボタンをクリックしてください（図 1.5）。

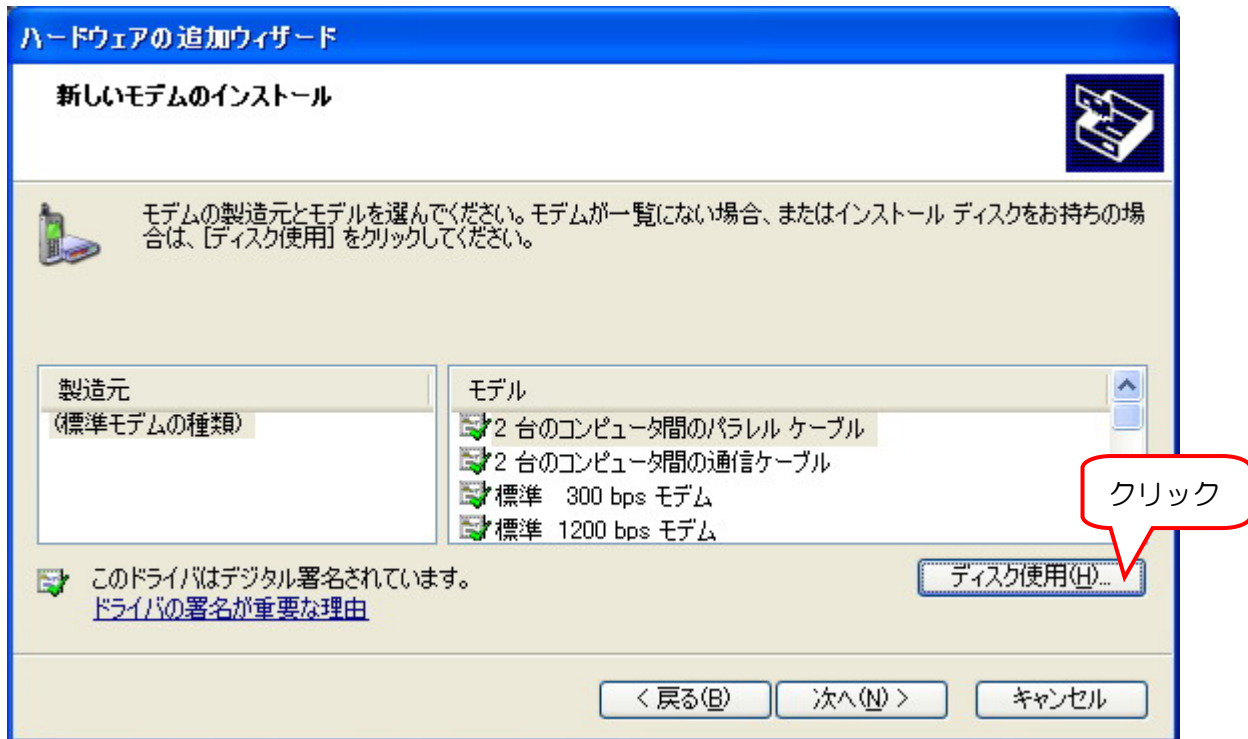


図 1.5

ファイルのコピー元を指定するウィンドウが表示されますので、「モデムセットアップ情報ファイル」を保存した場所を指定してください（図 1.6）。

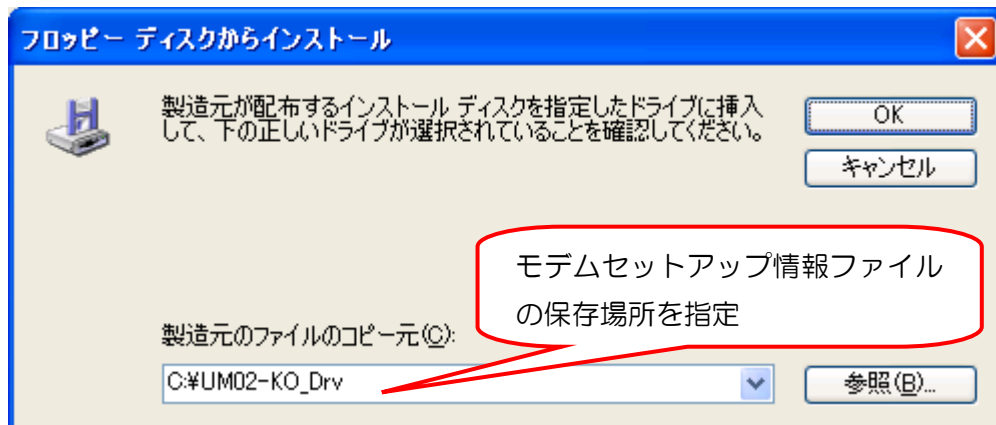


図 1.6

ここでは、「モデムセットアップ情報ファイル（UM02-KO.INF）」を
C:\UM02-KO_Drv
ディレクトリに保存しているものとして説明します。

コピー元の場所を指定したら、「OK」ボタンをクリックしてください。

「モデムセットアップ情報ファイル」を指定すると、モデムのモデル名が表示されます。表示されたモデル名「FOMA UMO2-KO」を選択し「次へ」ボタンをクリックしてください（図 1.7）。

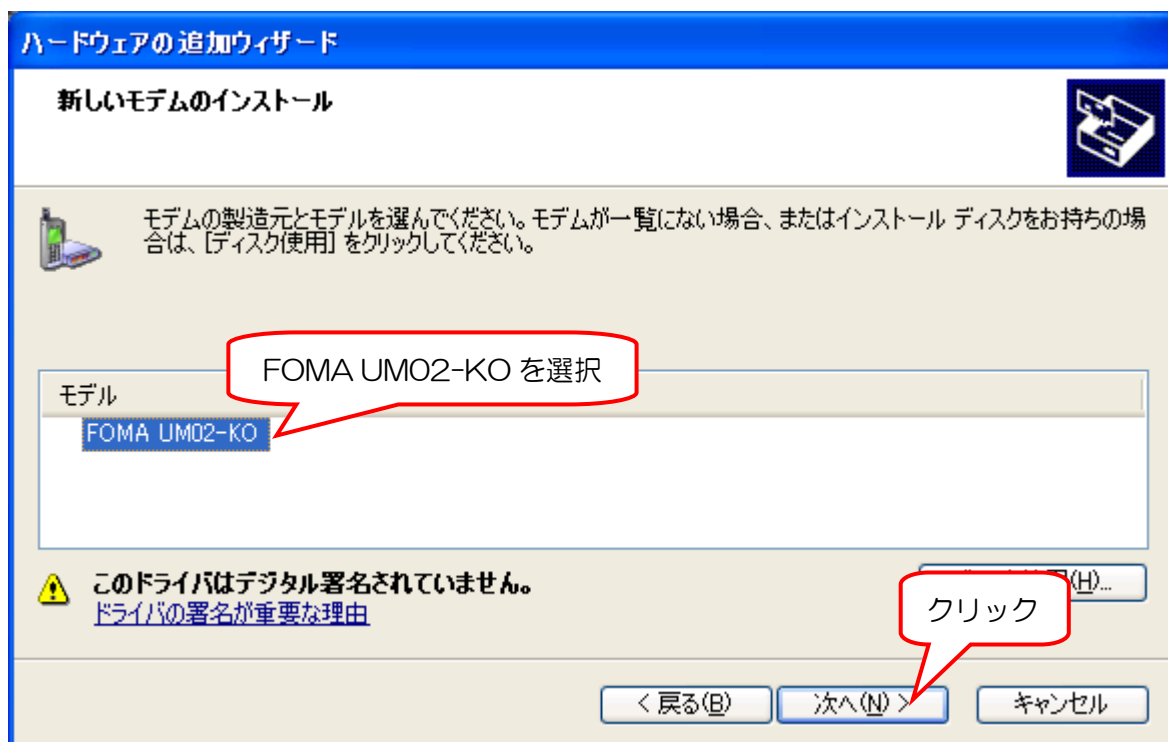


図 1.7

次にモデム（FOMA UMO2-KO）をインストールするポートを選択します。高速シリアルカードを使用する場合は、インストールした高速シリアルカードのポートを指定してください（図 1.8）。

（図 1.8 では COM1 を選択していますが、コンピュータのポート割当て状況によって異なります。）
使用するポートを選択後、「次へ」ボタンをクリックしてください。

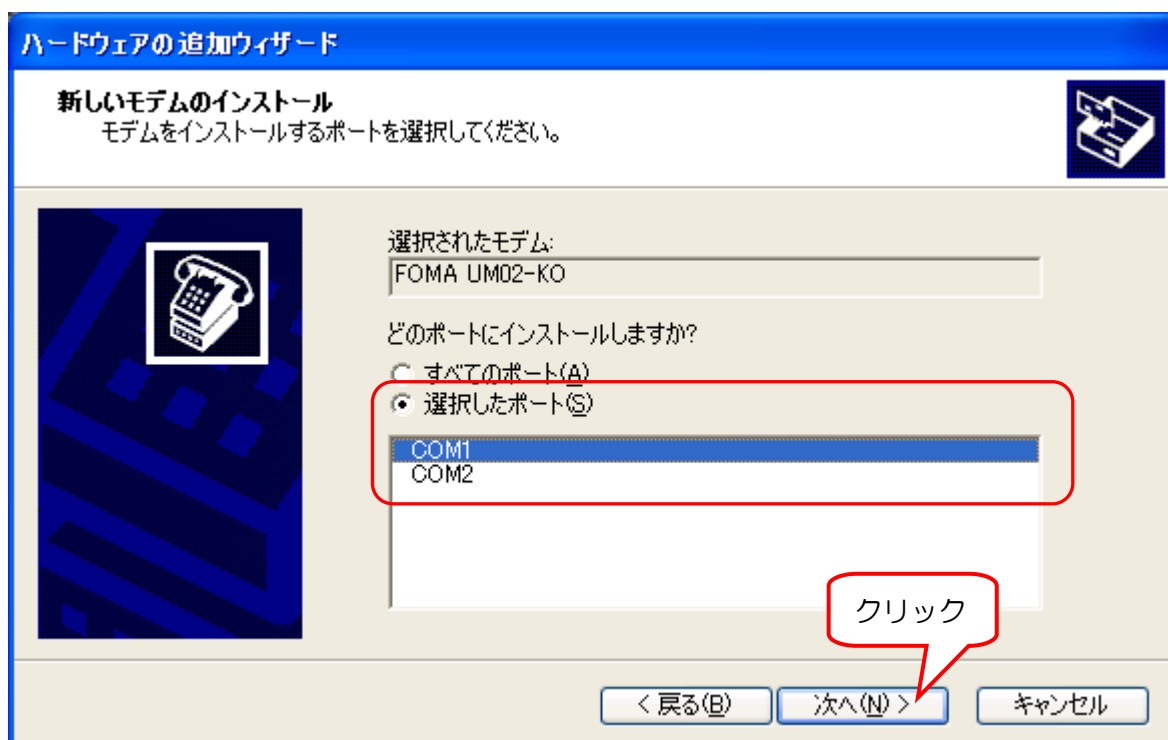


図 1.8

「次へ」をクリック後、モデムのインストールが開始されます。

モデムのインストール中に、Windows XP では図 1.9 のような警告画面が表示されます。

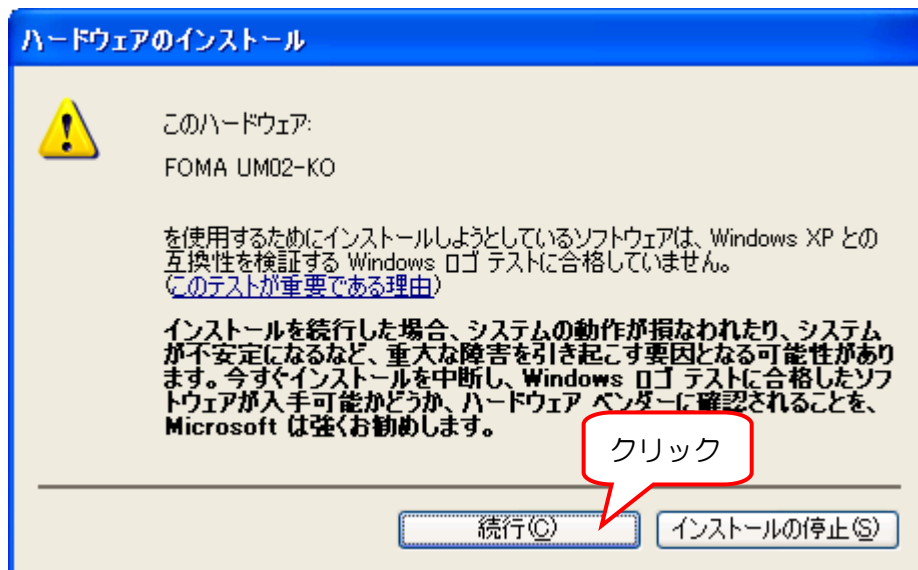


図 1.9

また、Windows2000 では図 1.10 のような警告画面が表示されます。

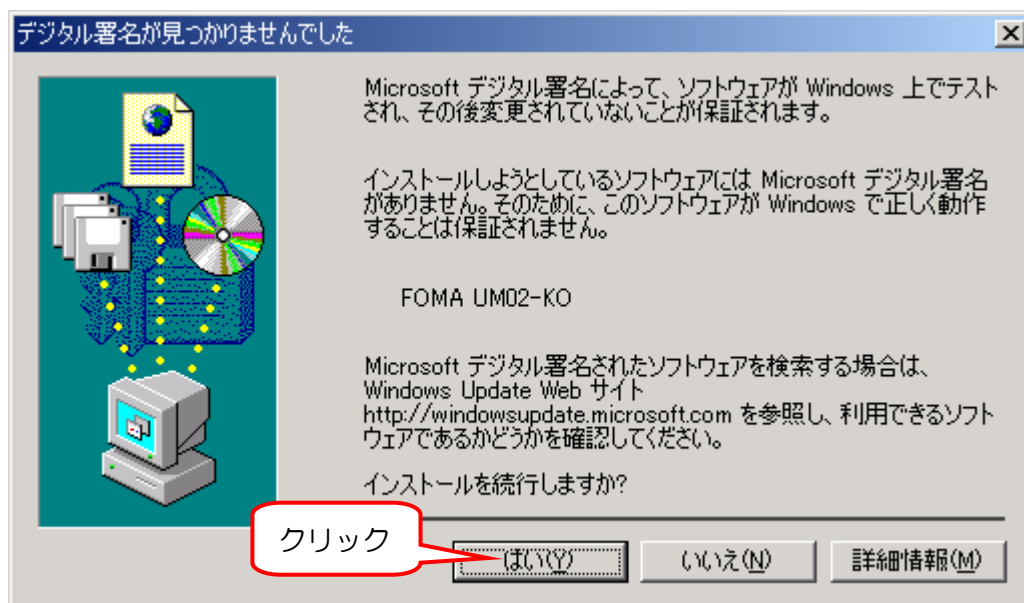


図 1.10

これは対象となるドライバが「Windows ロゴテスト」に対応していない場合に表示されますが、本インストールにおいては、動作上の問題はありません。

ここでは「続行」ボタン（図 1.9）、もしくは「はい」ボタン（図 1.10）をクリックしてください。

モデムのインストールが完了すると、図 1.11 の画面が表示されます。

以上でモデム（FOMA UM02-KO）のインストールは完了です。「完了」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じてください。

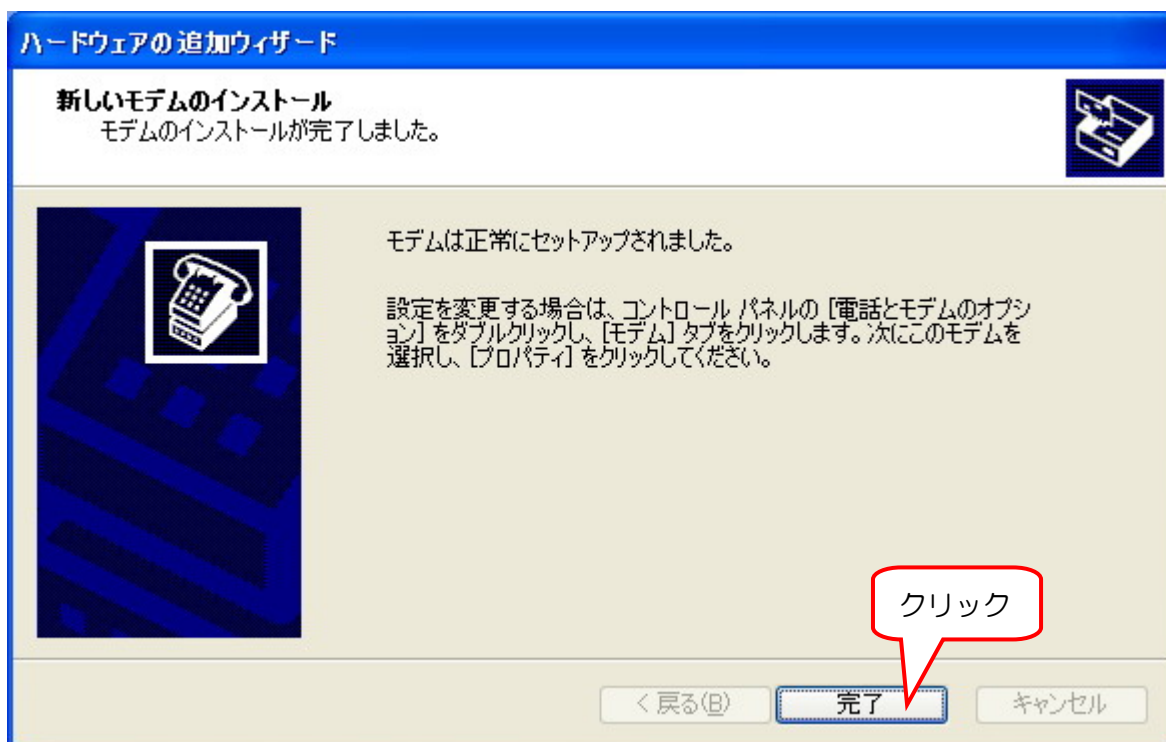


図 1.11

「電話とモデムのオプション」に、追加したモデムが表示されていれば、モデムは正常にインストールされています。

「OK」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じてください。

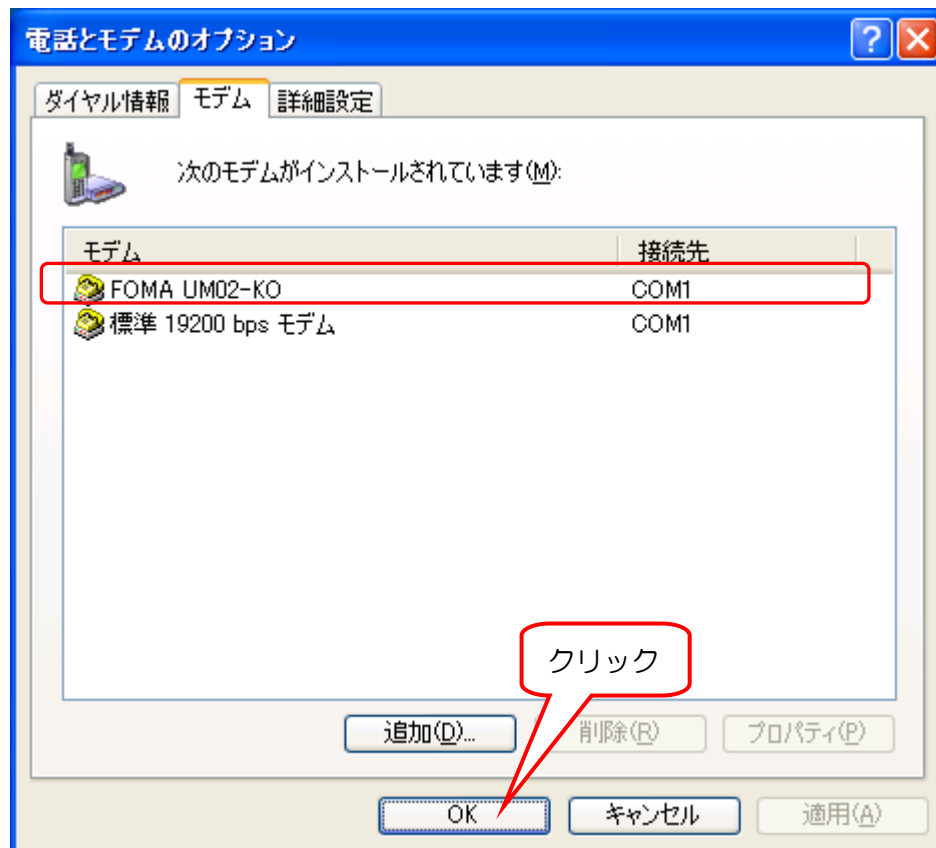


図 1.12

2. ダイアルアップ接続プロファイルの作成

ここではモデム（FOMA UM02-KO）を使ったダイアルアップ接続のプロファイルを作成します。

「スタート」→「コントロールパネル」を順にクリックし、コントロールパネルを表示させます。
表示されたコントロールパネルにおいて、「ネットワークとインターネット接続」をクリックします
（図 2.1）。

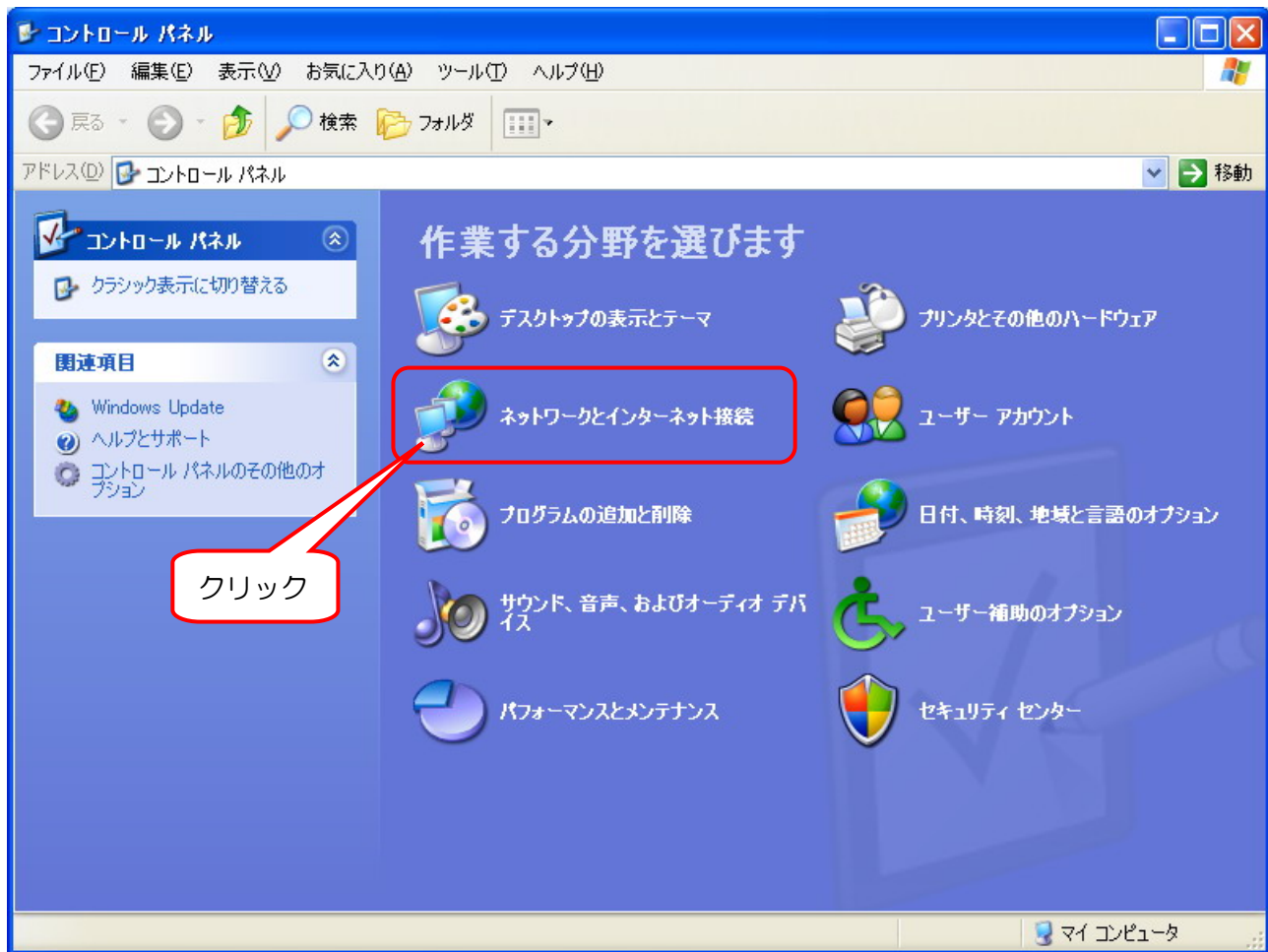


図 2.1

「ネットワークとインターネット接続」が表示されますので、つづけて「ネットワーク接続」をクリックします（図 2.2）。

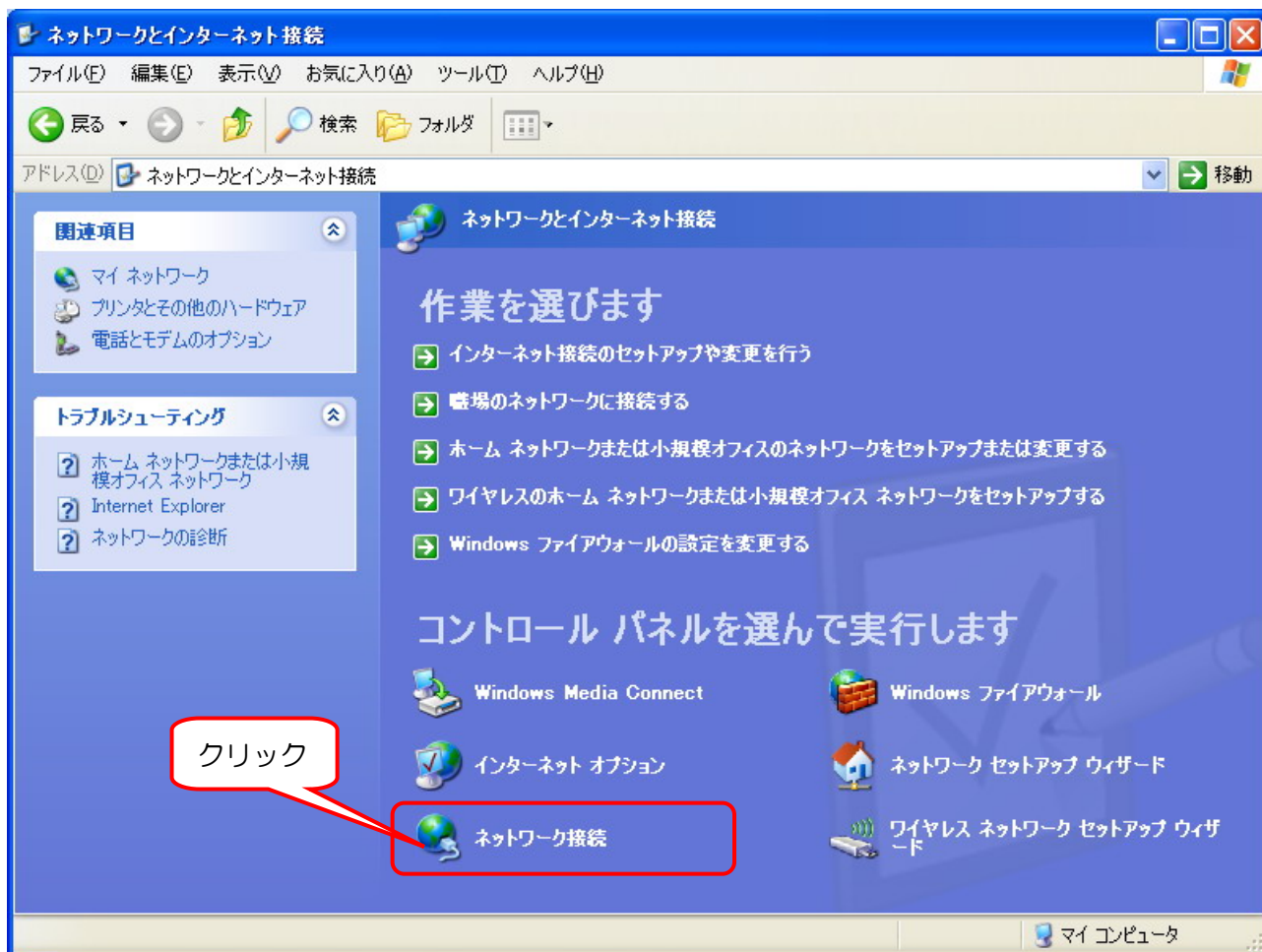


図 2.2

表示された「ネットワーク接続」において、左上にある「ネットワークタスク」内の「新しい接続を作成する」をクリックします（図 2.3）。「新しい接続ウィザード」が表示されます（図 2.4）。

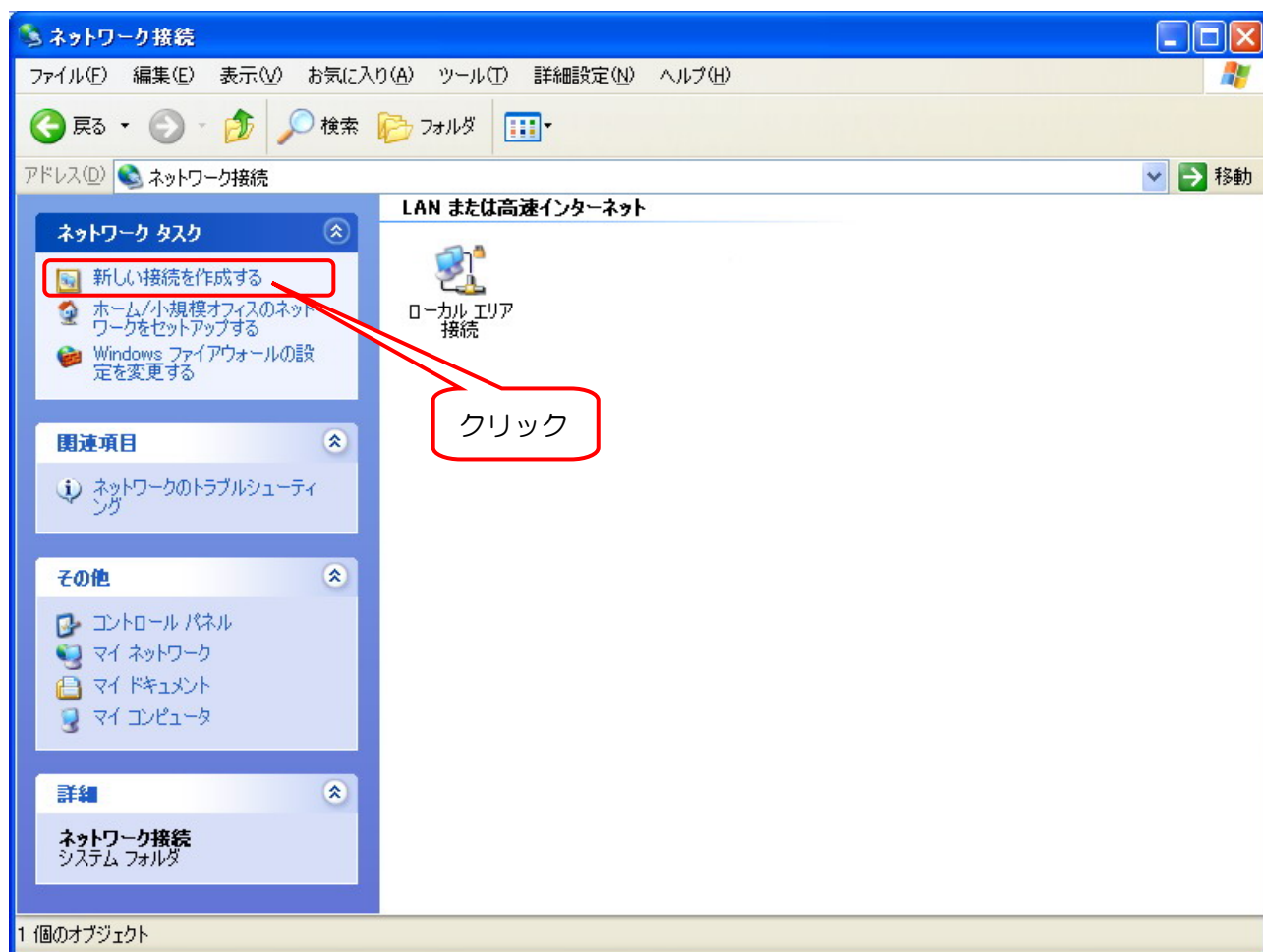


図 2.3

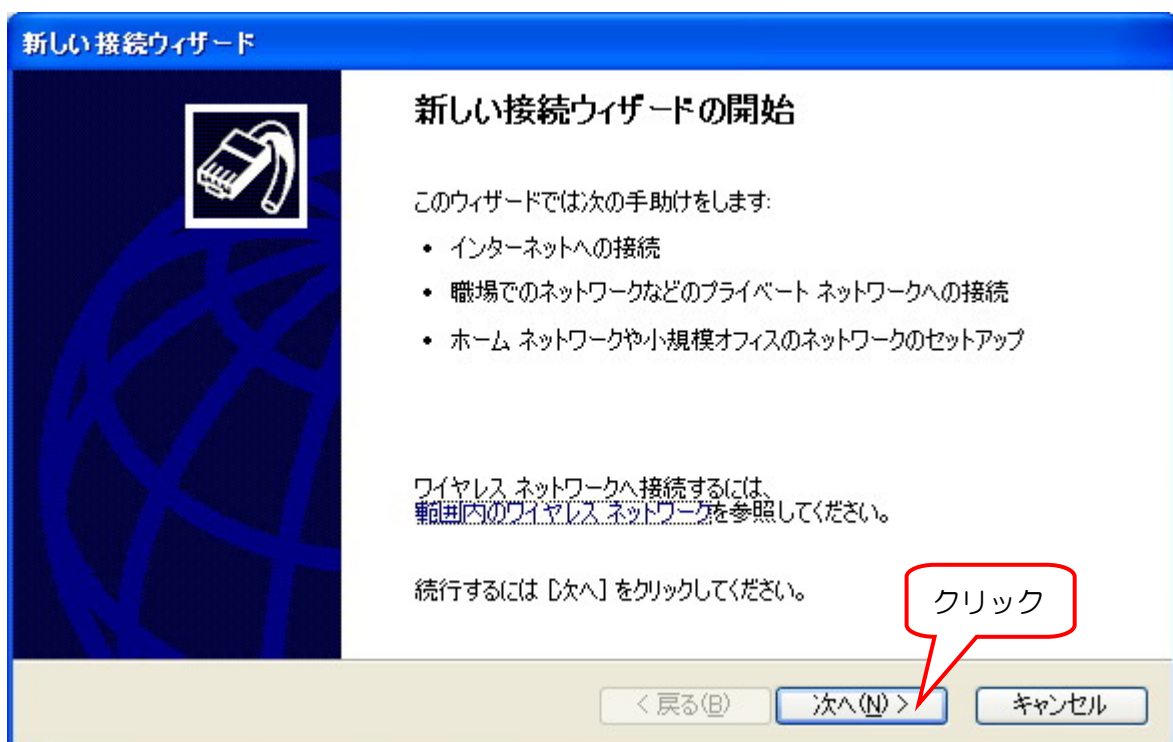


図 2.4

図 2.4 で「次へ」をクリックすると、「ネットワーク接続の種類」を選択する画面が表示されます。ここでは「インターネットに接続する」のラジオボタンにチェックをし、「次へ」ボタンをクリックしてください（図 2.5）。

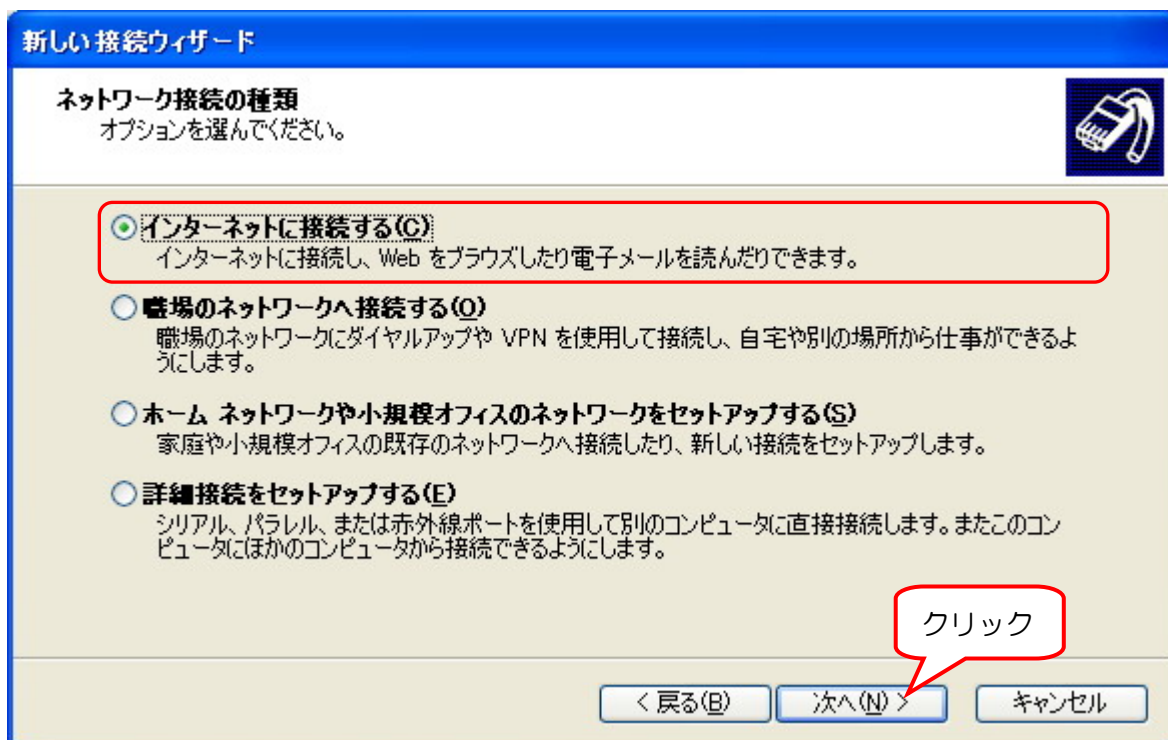


図 2.5

インターネットへ接続のセットアップは手動で行います。「接続を手動でセットアップする」のラジオボタンにチェックをし、「次へ」ボタンをクリックしてください（図 2.6）。

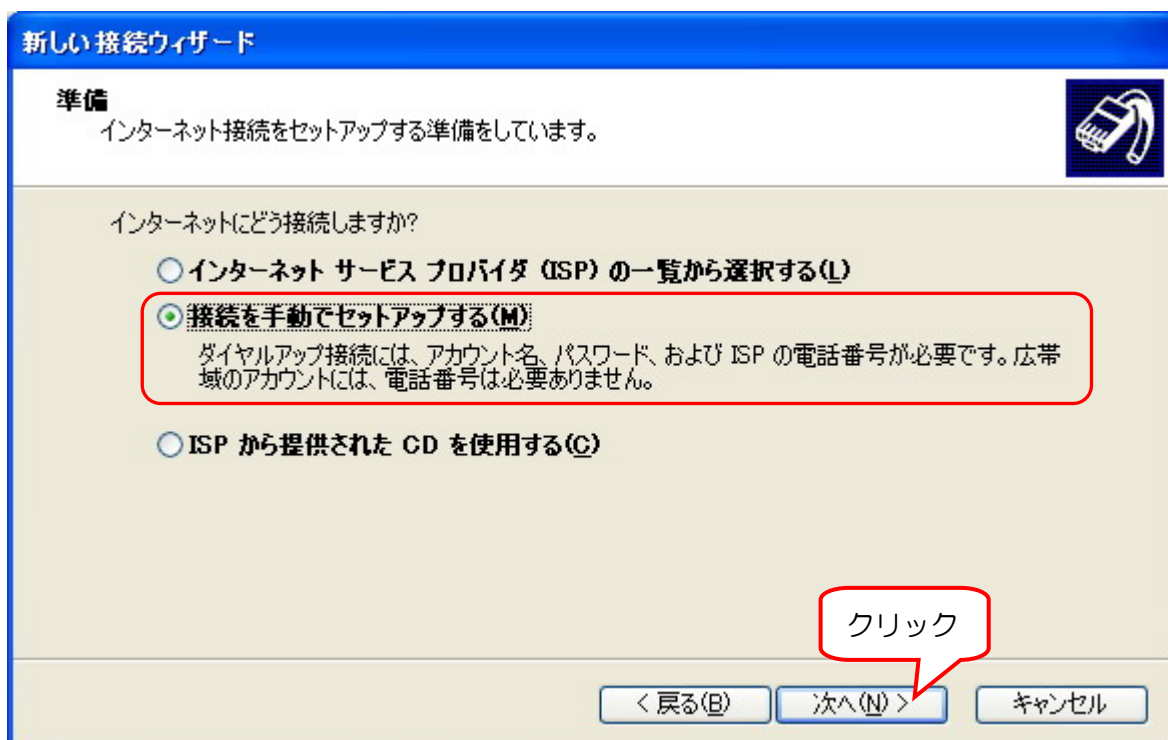


図 2.6

モデム（FOMA UM02-KO）を使用してダイヤルアップを行いますので「**ダイヤルアップモデムを使用して接続する**」のラジオボタンにチェックをし、「次へ」ボタンをクリックしてください(図 2.7)。

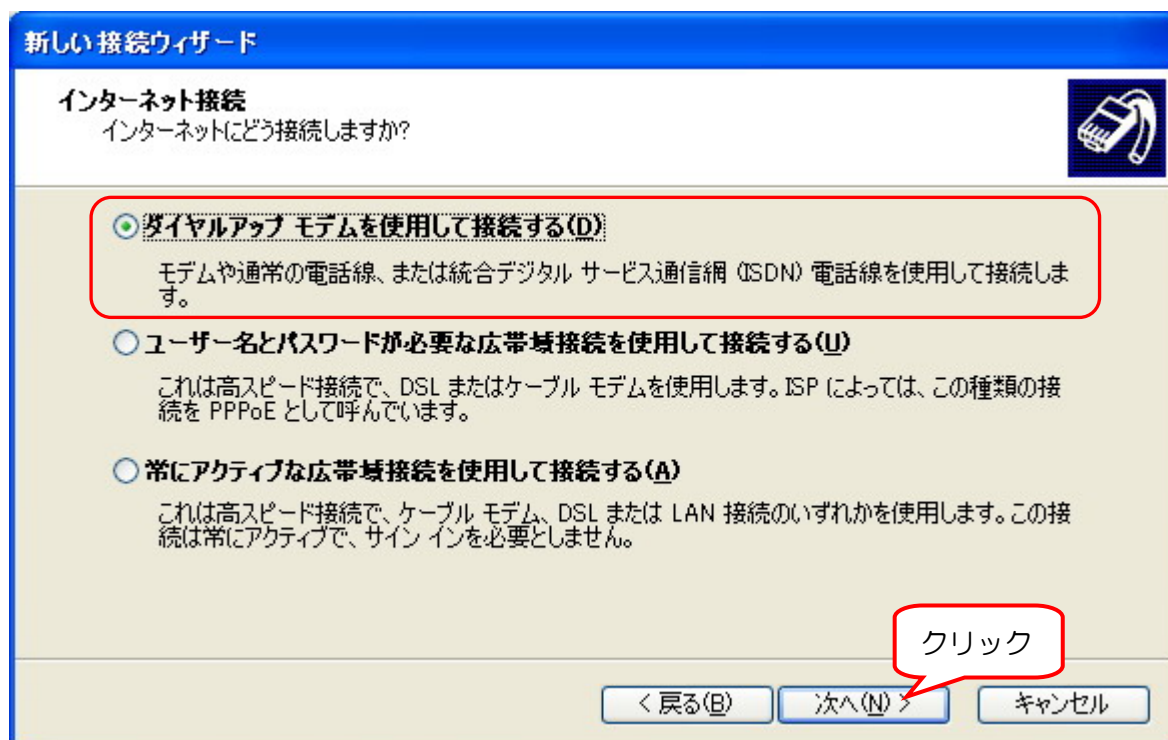


図 2.7

ダイヤルアップに使用するモデム（FOMA UM02-KO）を選択します。

（ただし、図 2.8 の画面は PC に複数のモデムがセットアップされている場合にのみ表示されます。）
モデム（FOMA UM02-KO）のチェックボックスにチェックを付け、「次へ」ボタンをクリックします（図 2.8）。

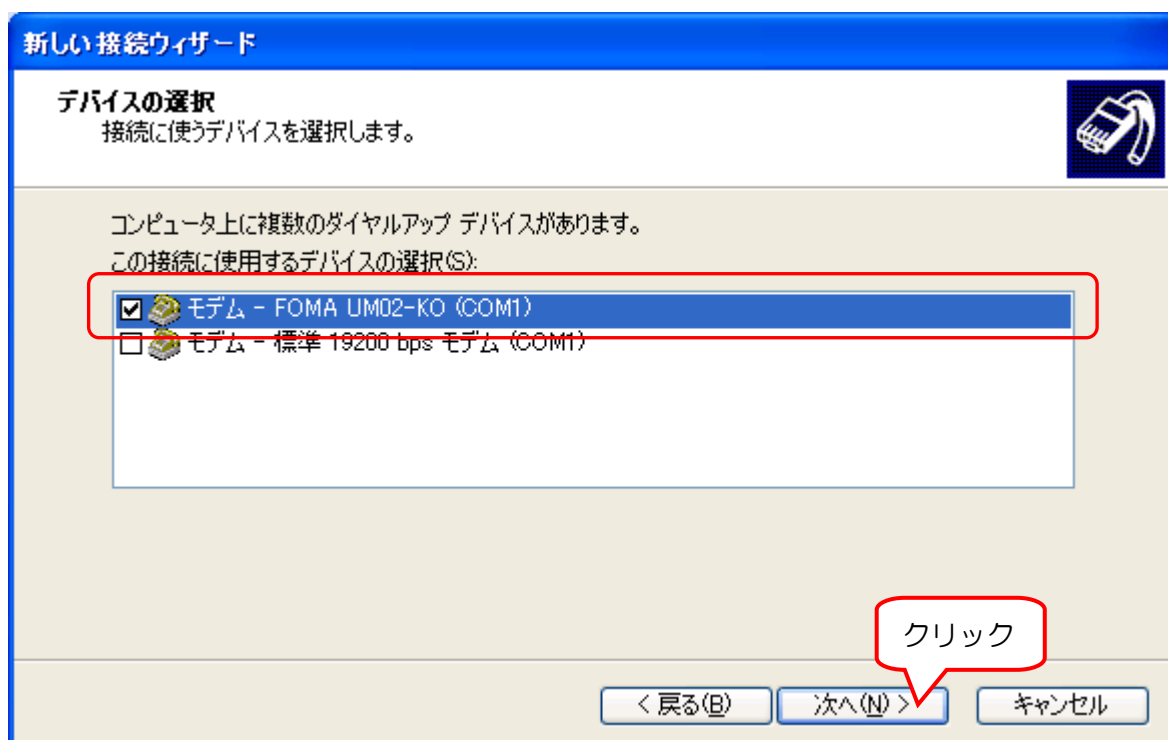


図 2.8

ダイヤルアップ接続を行う ISP（インターネットサービスプロバイダ）を設定します。
ここではドコモの「mopera（モペラ）」を利用してダイヤルアップ接続を行うものとして説明します。

※その他の ISP にダイヤルアップ接続を行う場合、その ISP が定めるセットアップ方法にしたがってダイヤルアップ接続の設定を行ってください。なお、利用するプロバイダは高速パケット通信に対応している必要があります。

※装置ネットワークなど限定されたネットワークに接続する場合には、該当するネットワークの設定方法にしたがってセットアップ接続の設定を行ってください。

接続名として ISP 名に「mopera」と入力します。

（補足：ISP 名は接続動作には関係ありませんので、任意の名前を入力することが可能です）

ISP 名を入力した後、「次へ」ボタンをクリックしてください（図 2.9）。

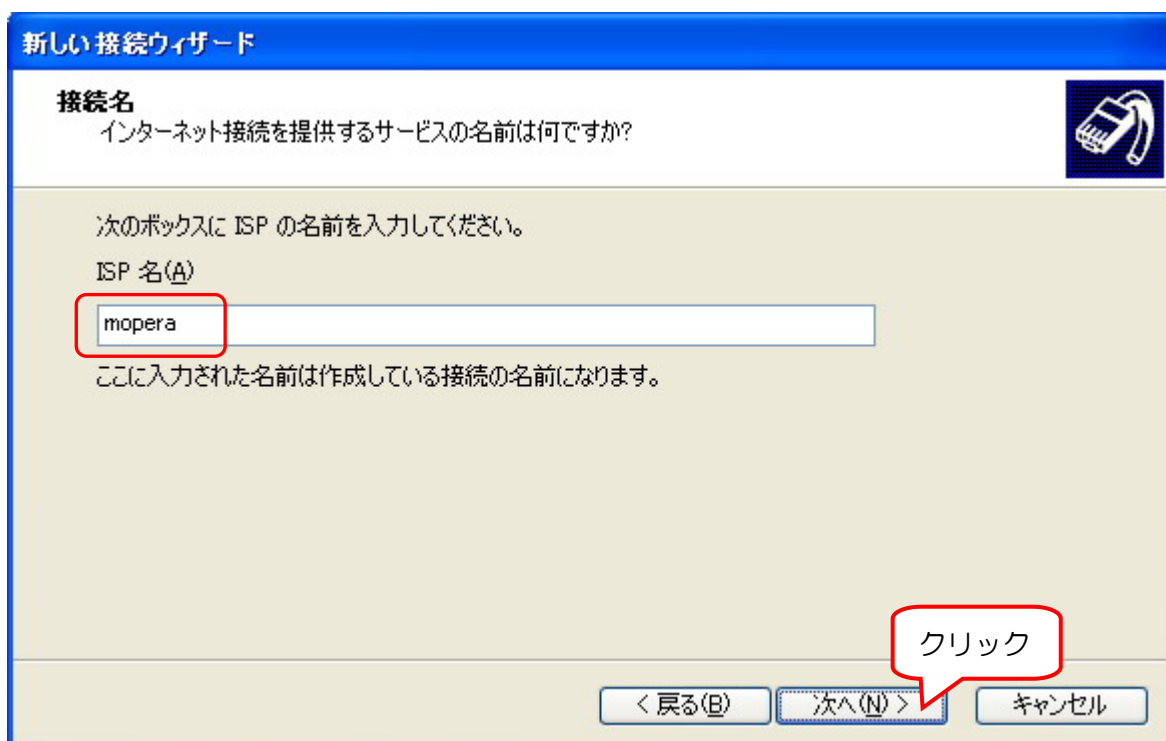


図 2.9

次に、ダイヤルアップ接続先の電話番号を設定します。

ここでは引き続き、ドコモの「mopera（モペラ）」を利用する場合の電話番号を例に設定を行います。

※あらかじめ、モデム（FOMA UM02-KO）に「mopera」への接続設定（APN 設定）を行っておく必要があります。

（出荷状態ではモデム（FOMA UM02-KO）には APN の設定は行われておりません。）

「FOMA UM02-KO 取扱説明書」を参考にして、お客様で APN の設定を行っておいてください。

ダイヤルする電話番号として、「電話番号」に「*99***1#」と半角文字で入力してください。電話番号を入力した後、「次へ」ボタンをクリックしてください。

※ 上記の電話番号「*99***1#」は、モデム（FOMA UM02-KO）に「mopera」への接続設定を CID1 に登録した場合の番号です。

他の CID に登録を行った場合には、「*99***△#」（△には APN 設定時に登録した cid 番号（1～10）を入力）として、電話番号を入力してください。

詳しくは、「FOMA UM02-KO 取扱説明書」を参照してください。

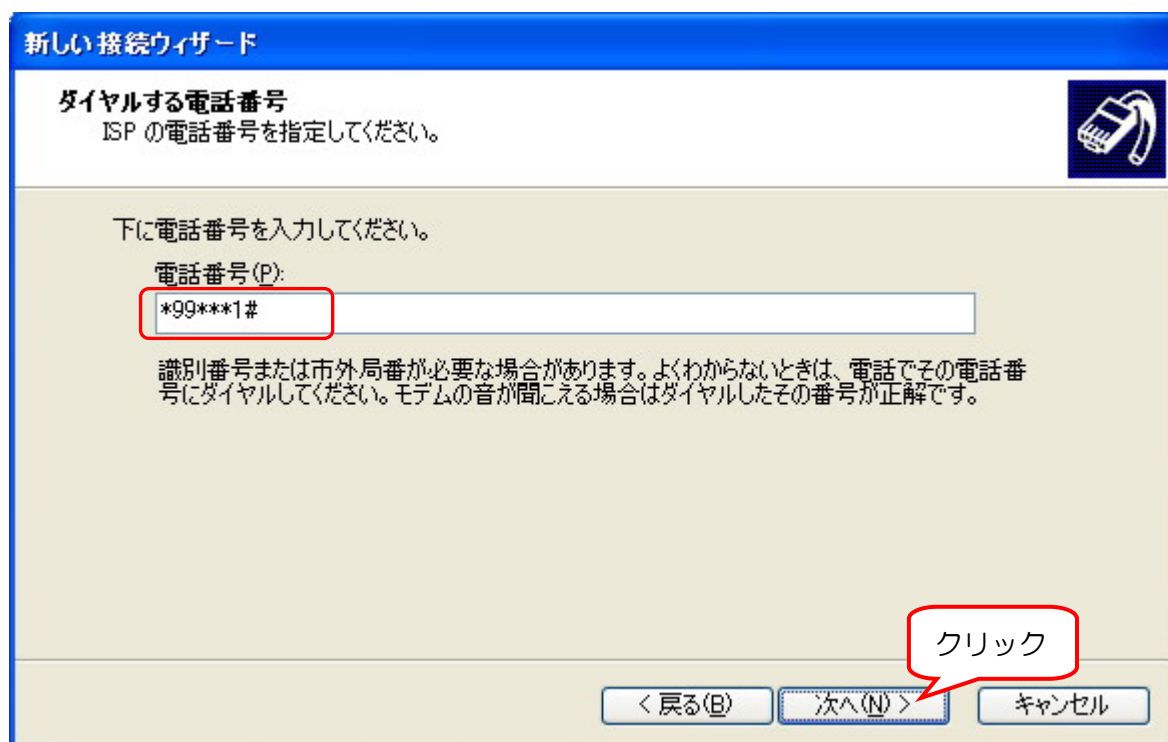


図 2.10

【参考】

- ・ APN の登録は AT コマンド操作で行います。
- ・ 詳しくは「FOMA UM02-KO 取扱説明書」に記述されている、AT コマンド「AT+CGDCONT」の使用方法を参照してください。

※その他の ISP にダイヤルアップ接続を行う場合、「高速パケット通信対応」のアクセスポイントの設定を行ってください。設定の際にはその ISP が定めるセットアップ方法にしたがってダイヤルアップ接続の設定を行ってください。

また、モデム（FOMA UM02-KO）に利用する ISP への接続設定（APN 設定）を行っておく必要があります。「FOMA UM02-KO 取扱説明書」を参考にして、お客様で APN の設定を行っておいてください。

※装置ネットワークなど限定されたネットワークに接続する場合には、該当するネットワークの設定方法にしたがってセットアップ接続の設定を行ってください。

また、モデム（FOMA UM02-KO）に利用するネットワークへの接続設定（APN 設定）を行っておく必要があります。「FOMA UM02-KO 取扱説明書」を参考にして、お客様で APN の設定を行っておいてください。

「次へ」をクリックすると、「接続の利用範囲」の設定画面が表示されます（図 2.11）。

「接続の利用範囲」の設定では、「すべてのユーザー」のラジオボタンがチェックされていることを確認してください。チェックされていない場合には、図 2.11 を参考に設定してください。

※図 2.11 は表示されない場合もあります。表示されない場合には、次の設定画面（図 2.12）が表示されますので、そのまま図 2.12 の設定を行ってください。

設定を確認したら、「次へ」ボタンをクリックしてください。

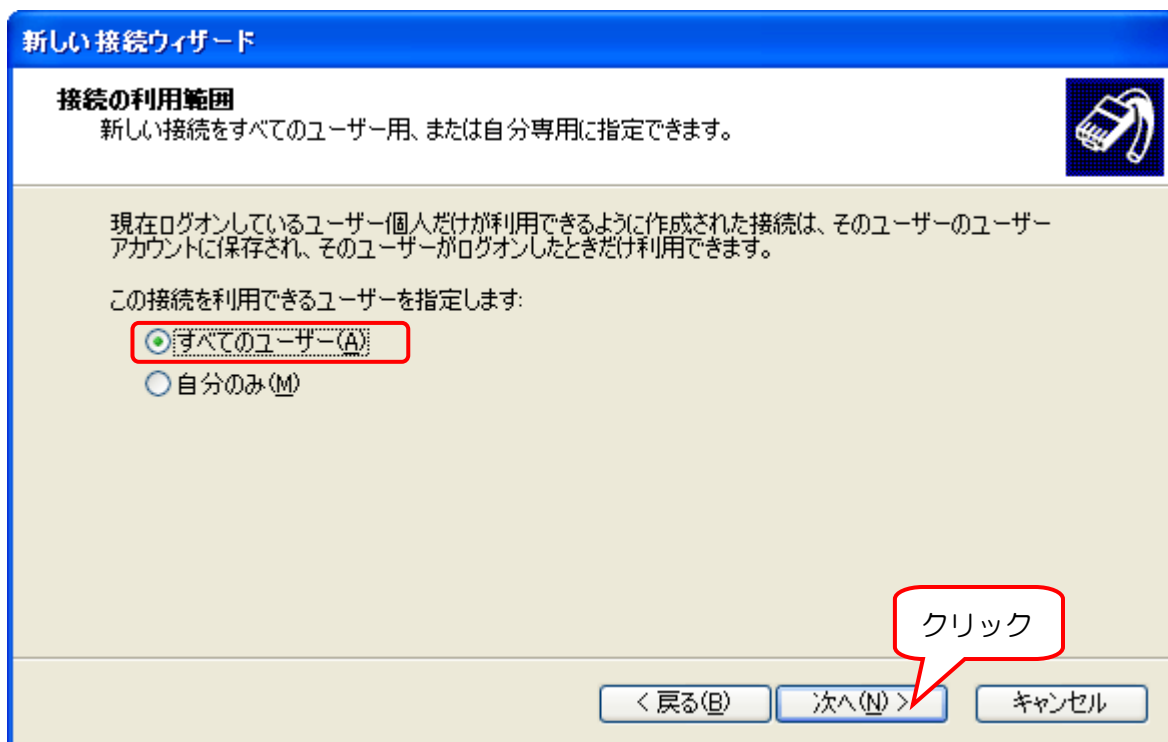


図 2.11

次に、インターネット アカウント情報を設定します。

「mopera」を利用する場合には、「ユーザ名」・「パスワード」の入力は必要ありません。
したがって、図 2.12 内の「ユーザ名」・「パスワード」・「パスワードの確認入力」欄はそれぞれ空欄のまま、「次へ」ボタンをクリックしてください。

新しい接続ウィザード

インターネット アカウント情報
インターネット アカウントにサインインするにはアカウント名とパスワードが必要です。

ISP アカウント名およびパスワードを入力し、この情報を書き留めてから安全な場所に保管してください。(既存のアカウント名またはパスワードを忘れてしまった場合は、ISP に問い合わせてください。)

ユーザ名(U):

パスワード(P):

パスワードの確認入力(C):

☒ このコンピュータからインターネットに接続するときは、だれでもこのアカウント名およびパスワードを使用する(S)

☒ この接続を既定のインターネット接続とする(M)

クリック

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

図 2.12

※mopera 以外の ISP にダイヤルアップ接続を行う場合などアクセス先がユーザ名及びパスワードを必要とする場合は、その ISP が定めるセットアップ方法にしたがって「ユーザ名」・「パスワード」の情報を入力してください。

以上でダイヤルアップ接続プロファイルの作成は完了です。「完了」ボタンをクリックしてください。

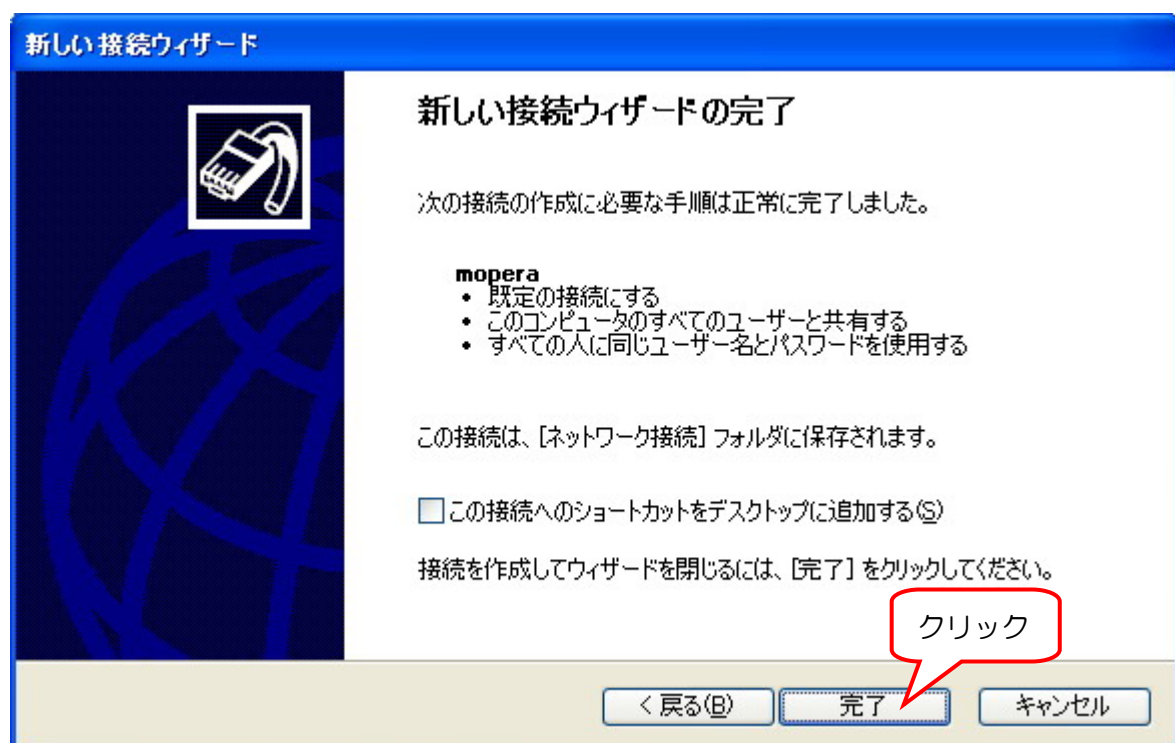


図 2.13

3. モデム設定・接続プロファイルの設定・確認

インストールしたモデムの設定、および、作成したダイヤルアップ接続プロファイル「mopera」の設定を確認します。

モデムの設定では、通信速度などを設定・確認します。

接続プロファイルの設定では、ハードウェア機能、通信速度の設定やネットワーク設定などを設定・確認します。

① モデム (FOMA UMO2-KO) の設定・確認

「スタート」→「コントロールパネル」を順にクリックし、コントロールパネルを表示させます。表示されたコントロールパネルにおいて、「プリンタとその他のハードウェア」をクリックします（図 3-1.1）。

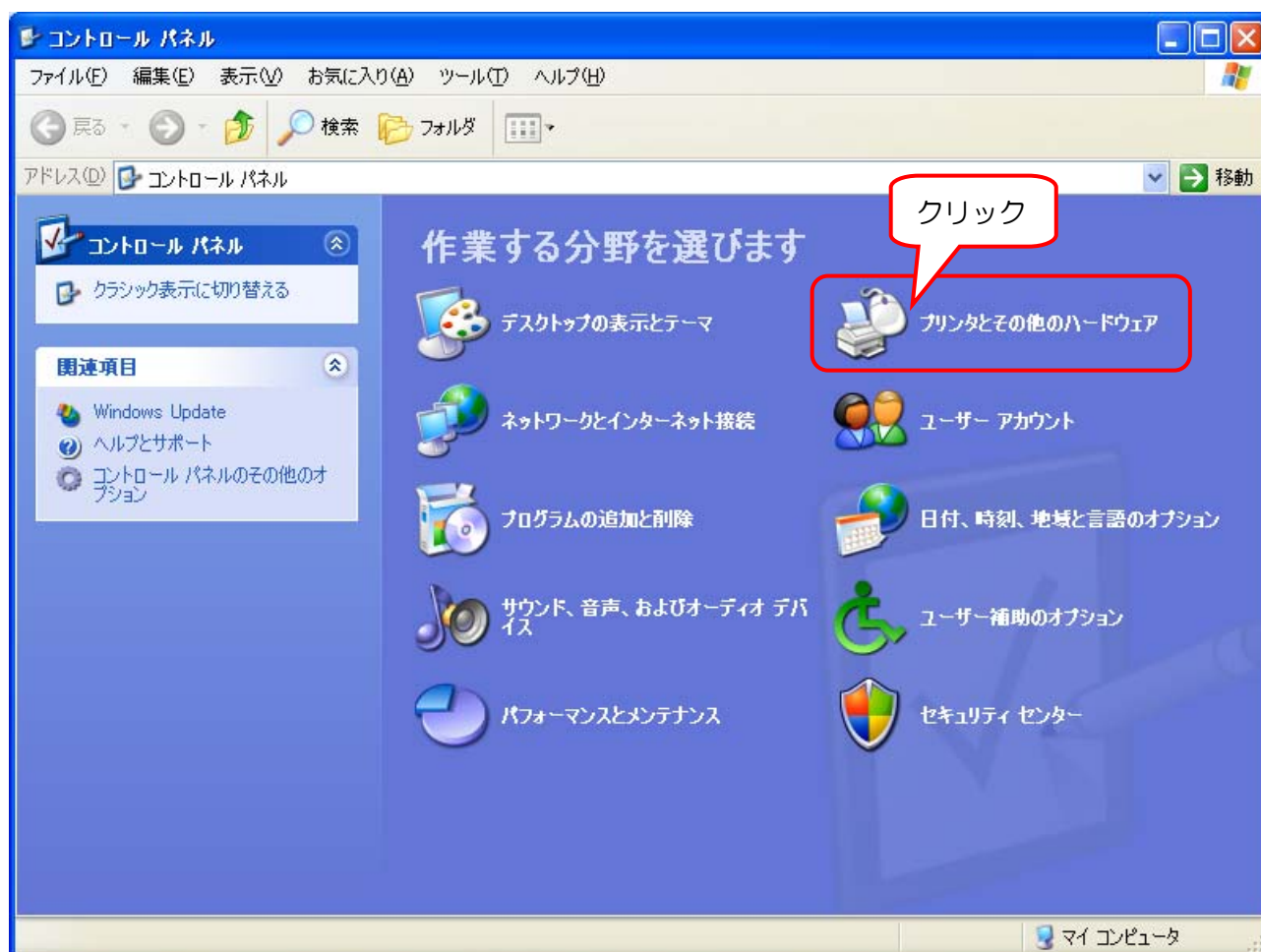


図 3-1.1

「プリンタとその他のハードウェア」が表示されますので、続けて「電話とモデムのオプション」をクリックします（図 3-1.2）。

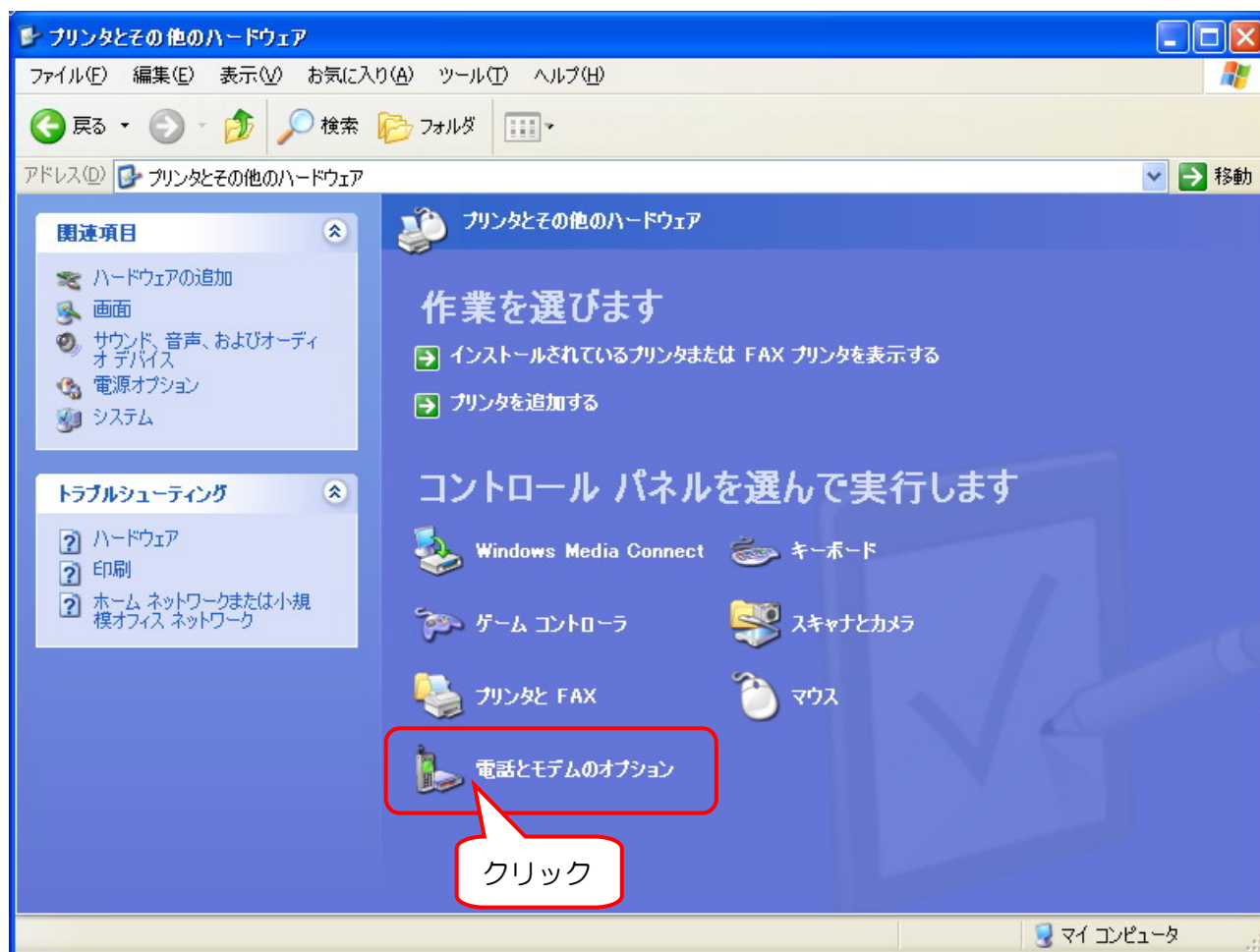


図 3-1.2

「電話とモデムのオプション」が表示されますので、「モデム」タブを表示させます。モデム（FOMA UM02-KO）を選択し、「プロパティ」をクリックします（図 3-1.3）。

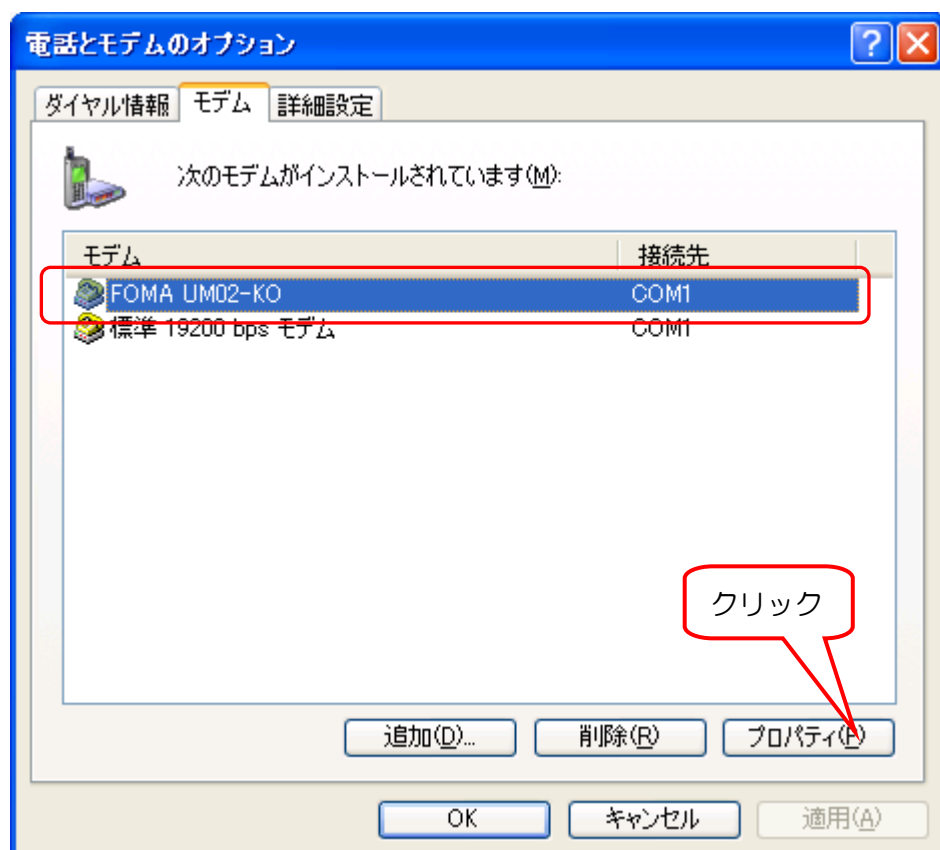


図 3-1.3

クリックすると、「FOMA UM02-KO のプロパティ」が表示されます（図 3-1.4）。



図 3-1.4

「FOMA UMO2-KOのプロパティ」において、以下の項目を設定・確認します。

- a) ポートの最高速度
- b) フロー制御

a) ポートの最高速度

「モデム」タブをクリックし「ポートの最高速度」を設定します。設定する値は、「FOMA UMO2-KO 接続用治具」に設定した値と同じ値に設定してください。（図 3-1.5）

※ 「FOMA UMO2-KO 接続用治具」における通信速度設定については、「FOMA UMO2-KO 接続用治具取扱説明書」を参照してください。

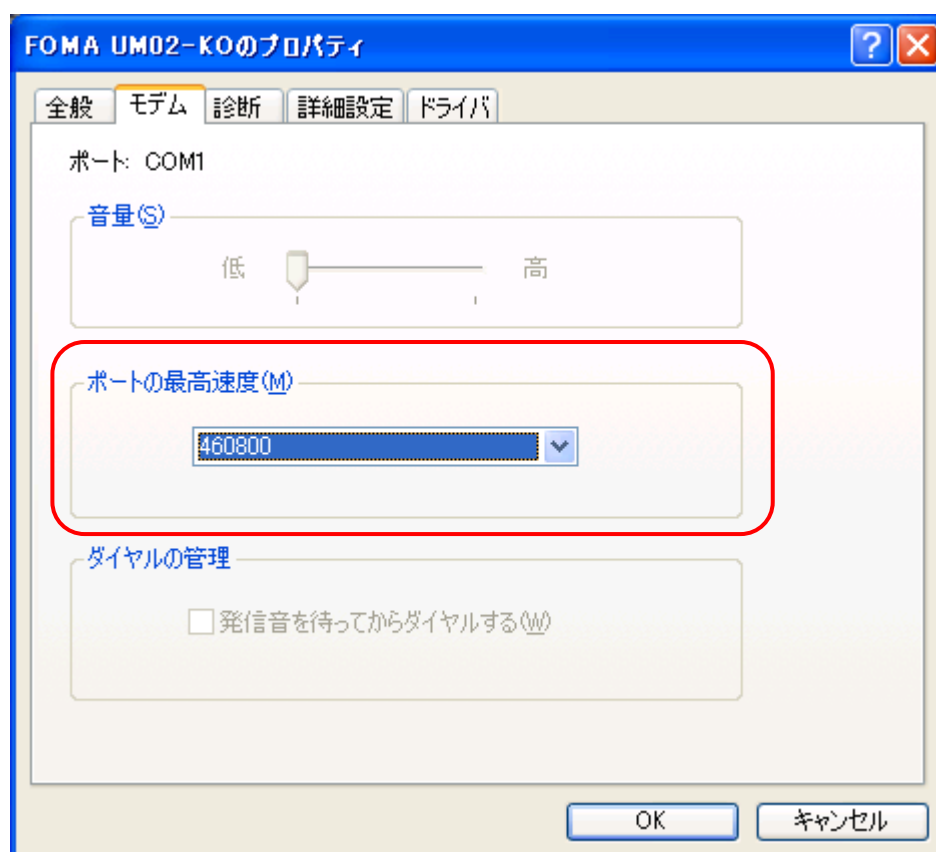


図 3-1.5

b) フロー制御

「詳細設定」タブをクリックし「フロー制御」を設定・確認します。

「詳細設定」タブにある「規定の設定を変更」ボタンをクリックしてください（図 3-1.6）。

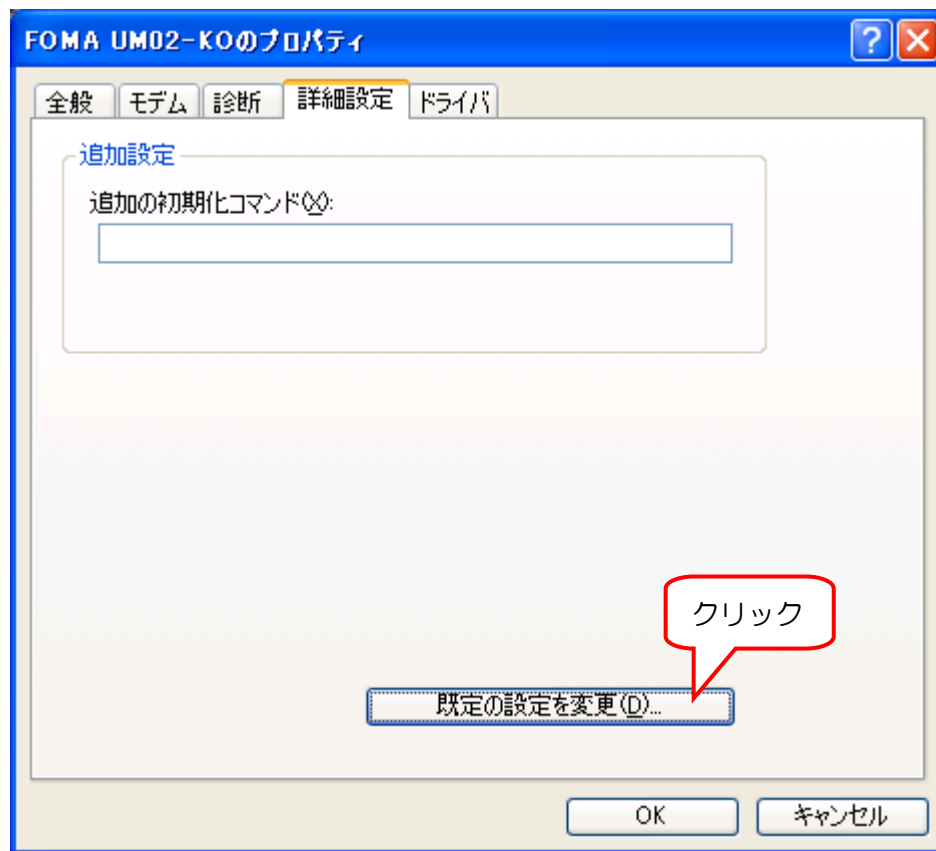


図 3-1.6

「規定の設定を変更」ボタンをクリックすると「FOMA UM02-KO 規定の設定」が表示されます。

「FOMA UM02-KO 規定の設定」において、「フロー制御」を設定します。設定する値は、「FOMA ユビキタスマジュール (FOMA UM02-KO)」に設定した値と同じ値に設定してください。(図 3-1.7)

※ 「FOMA ユビキタスマジュール (FOMA UM02-KO)」におけるフロー制御の設定については、「FOMA UM02-KO 取扱説明書」を参照してください。

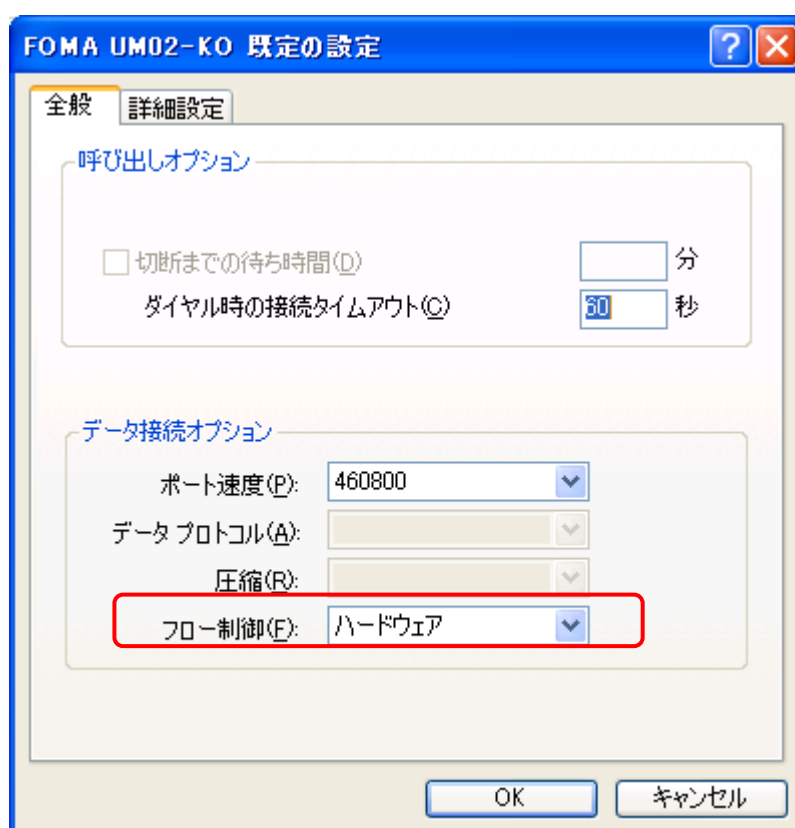


図 3-1.7

つづけて、「FOMA UM02-KO 規定の設定」において、「詳細設定」タブを表示させます。

「詳細設定」に表示された「ハードウェアの設定」（データビット・パリティ・ストップビット）の値がそれぞれ、図 3-1.8 に示した値になっているか、確認してください。

データビット : 8
パリティ : なし
ストップビット : 1

正しく設定されていることを確認したら、「OK」ボタンをクリックしてください。

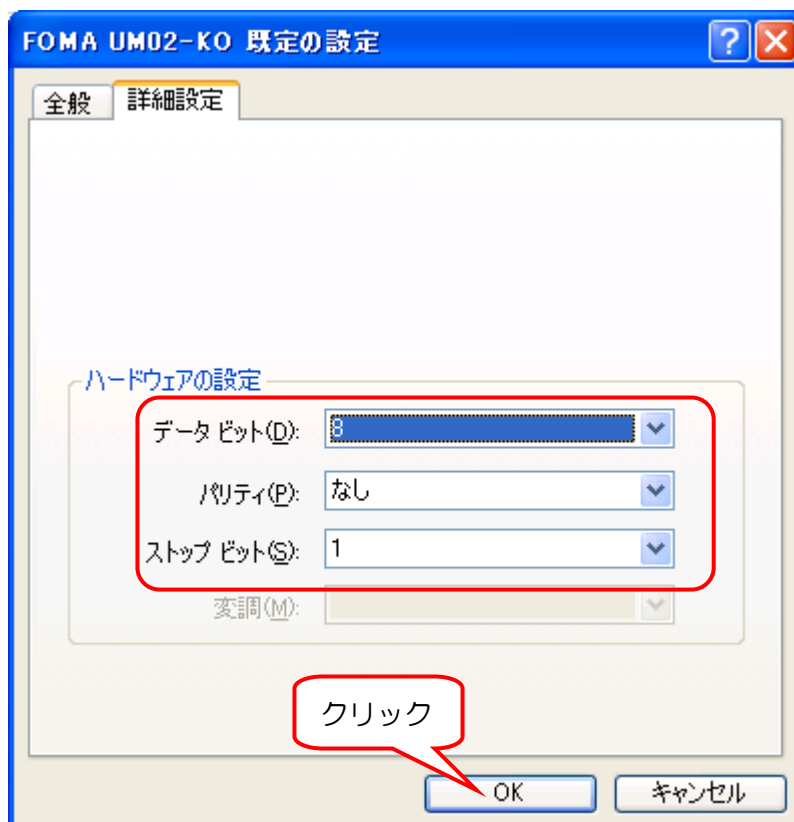


図 3-1.8

以上で「① モデム（FOMA UM02-KO）の設定・確認」は終了です。

「OK」ボタンをクリックして「FOMA UM02-KO のプロパティ」ウィンドウを閉じてください（図 3-1.9）。

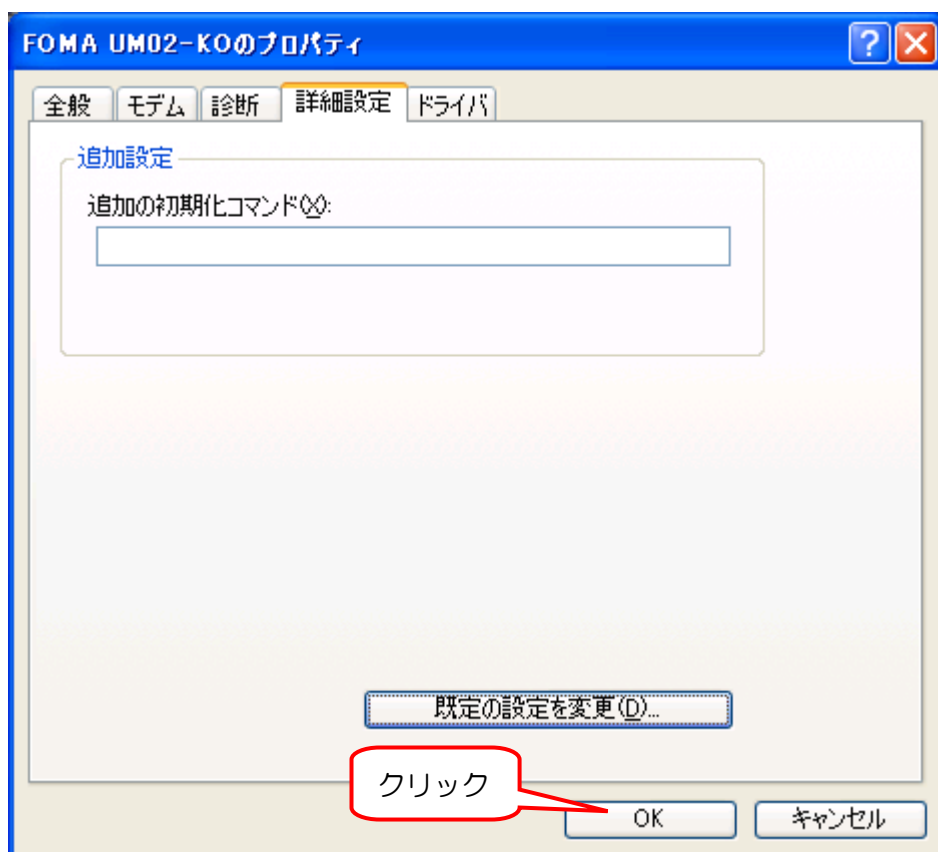


図 3-1.9

つづけて、表示されている「電話とモデムのオプション」ウィンドウを「OK」ボタンをクリックして閉じてください（図 3-1.10）。

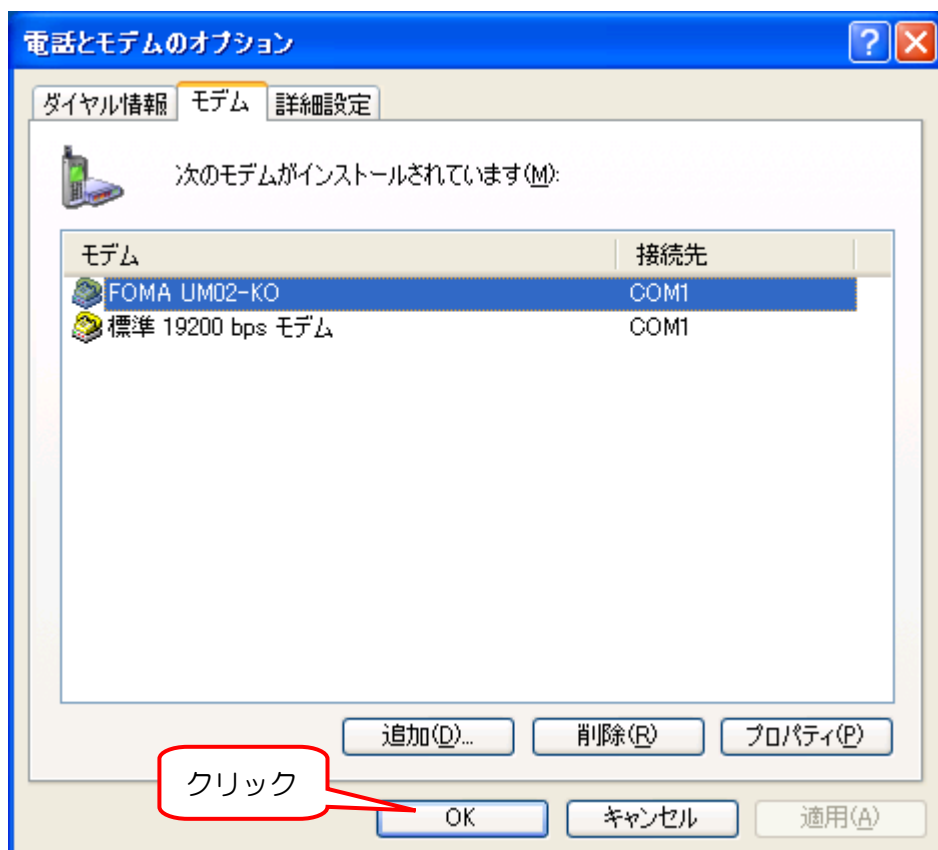


図 3-1.10

② 接続プロファイル・ハードウェア機能、通信速度の設定・確認

「2. ダイアルアップ接続プロファイルの作成」で作成したダイアルアップ接続のプロファイル「mopera」の設定・確認を行います。

「スタート」→「コントロールパネル」を順にクリックし、コントロールパネルを表示させます。
表示されたコントロールパネルにおいて、「ネットワークとインターネット接続」をクリックします
(図 3-2.1)。

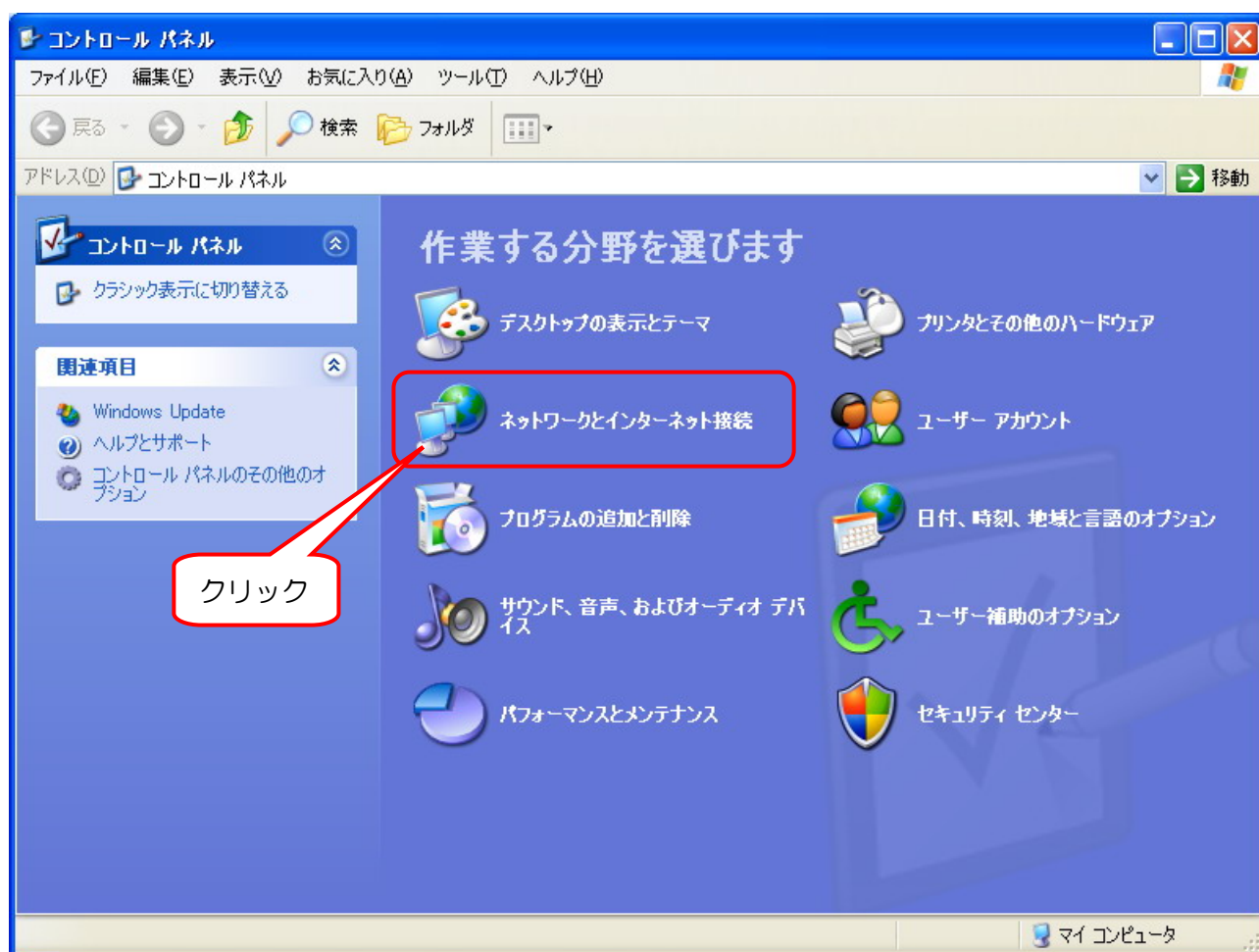


図 3-2.1

「ネットワークとインターネット接続」が表示されますので、続けて「ネットワーク接続」をクリックします（図 3-2.2）。

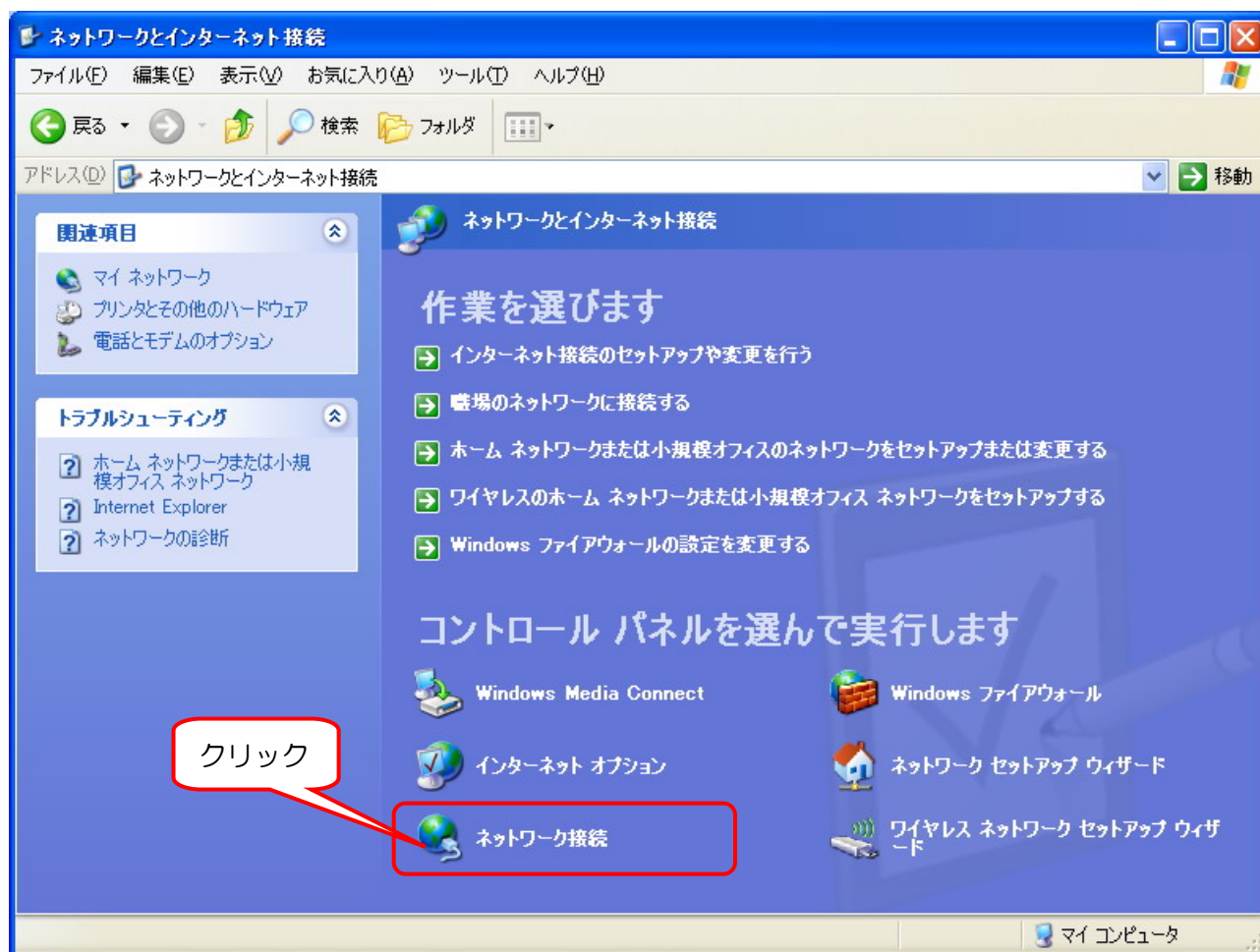


図 3-2.2

表示された「ネットワーク接続」において、「2. ダイアルアップ接続プロファイルの作成」で作成したダイアルアップ接続「mopera」の設定・確認を行います。

ダイアルアップ接続「mopera」のアイコン上で右クリックしてコンテキストメニューを表示させ、プロパティをクリックしてください（図 3-2.3）。

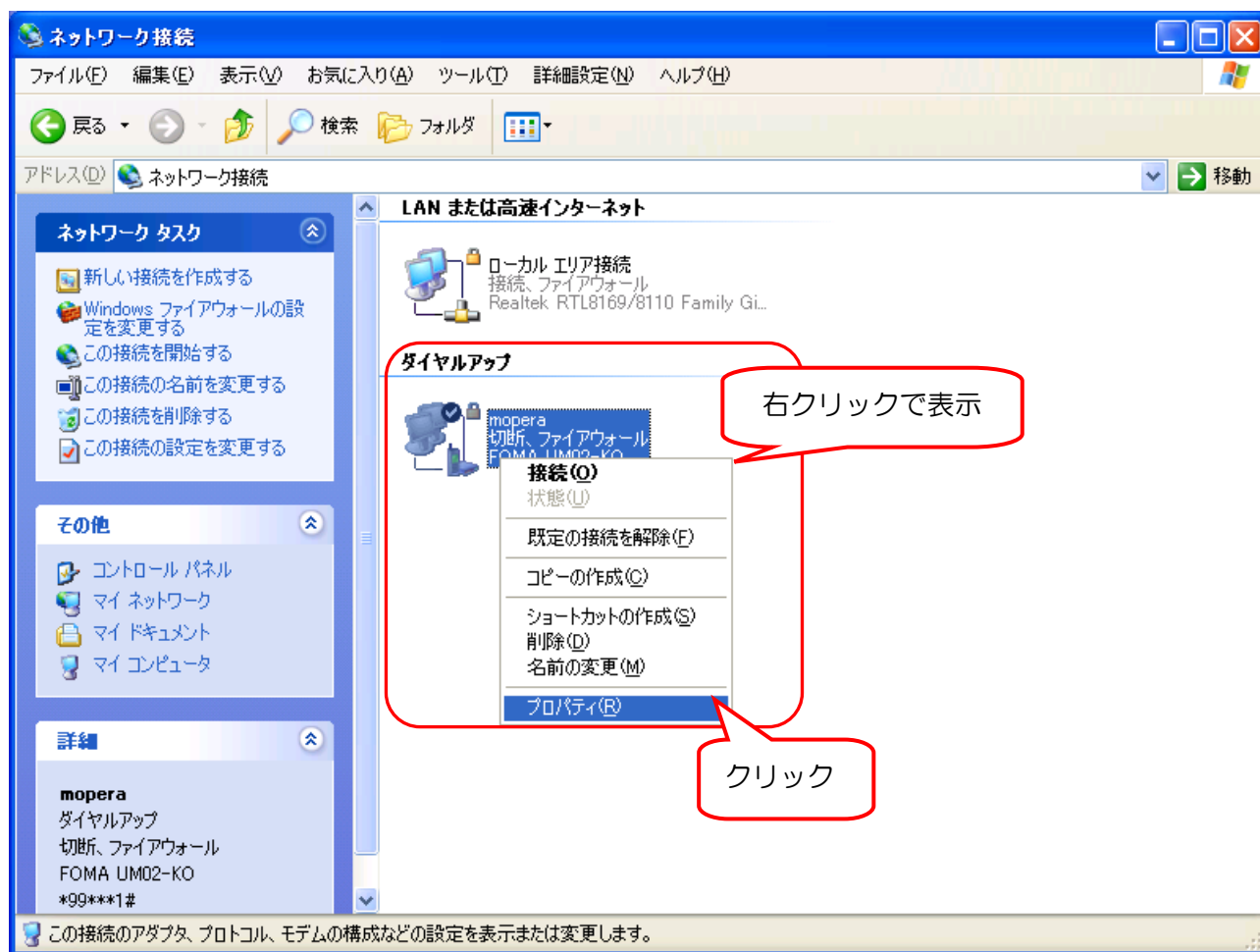


図 3-2.3

表示された「mopera プロパティ」においてダイヤルアップ接続にて使用するモデム（FOMA UMO2-KO）の設定を確認するために、モデム（FOMA UMO2-KO）を選択した状態で「構成」ボタンをクリックします（図 3-2.4）。

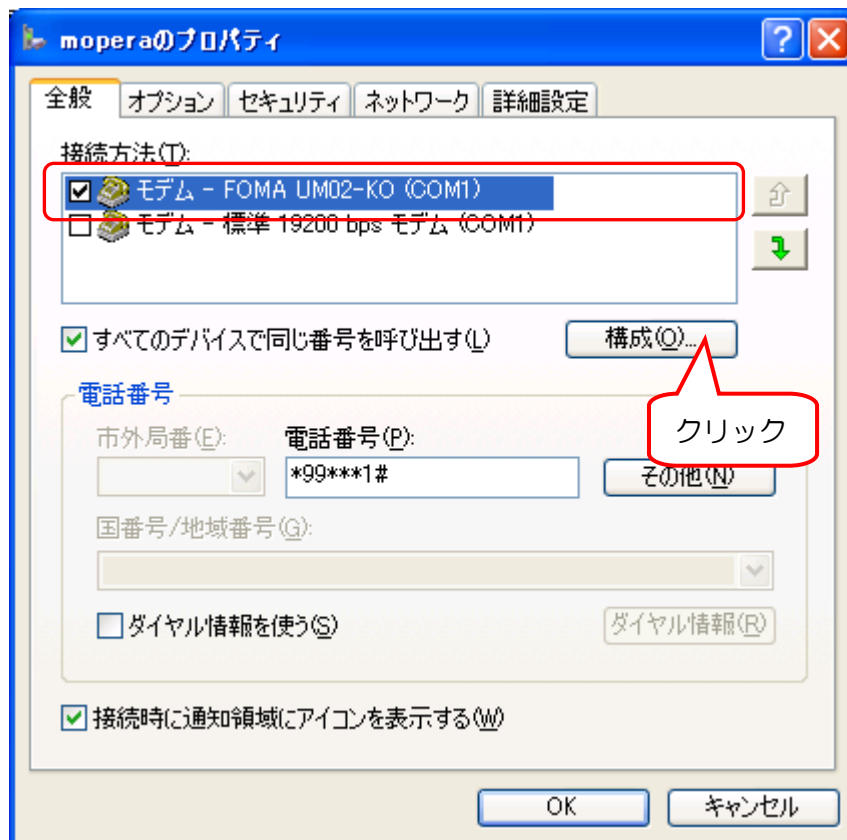


図 3-2.4

表示された「モデムの構成」FOMA UM02-KO において、「最高速度 (bps)」を設定してください。
設定する値は、「FOMA UM02-KO 接続用治具」に設定した値と同じ値に設定してください。
(図 3-1.5 「FOMA UM02-KO のプロパティ」にて設定された値と同じ値を設定してください。)

※ 「FOMA UM02-KO 接続用治具」における通信速度設定については、「FOMA UM02-KO 接続用治具取扱説明書」を参照してください。

また、モデムのハードウェアフロー制御を使用する場合には、「ハードウェアの機能」欄の「ハードウェアフロー制御を行う」にチェックを入れます。この場合、「FOMA ユビキタスモジュール (FOMA UM02-KO)」の設定もハードウェアフロー制御に設定してください。
(図 3-1.7 「FOMA UM02-KO 規定の設定」にて設定された値と同じ値を設定してください。)

※ 「FOMA ユビキタスモジュール (FOMA UM02-KO)」におけるフロー制御の設定については、「FOMA UM02-KO 取扱説明書」を参照してください。

設定が完了しましたら、「OK」ボタンをクリックして「モデムの構成」を閉じてください。

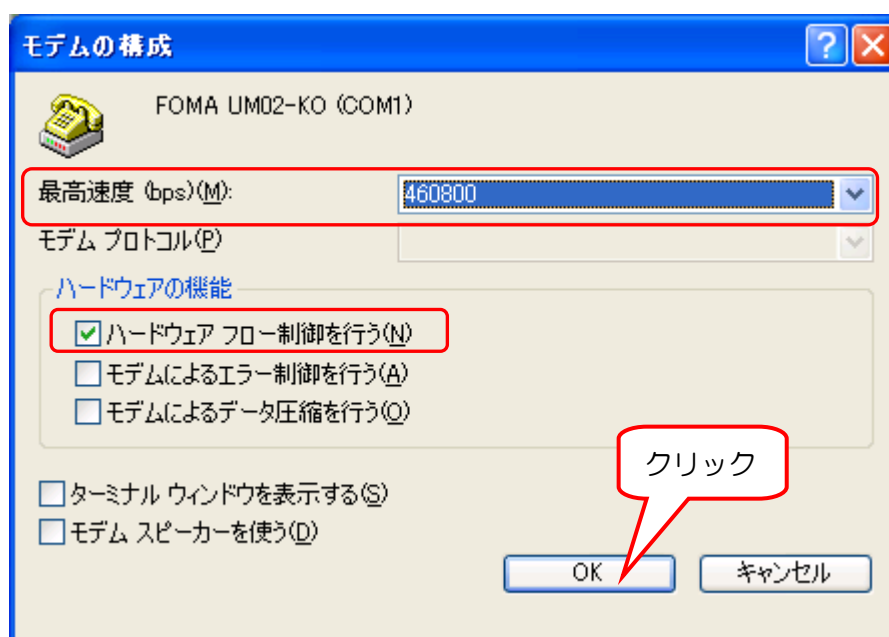


図 3-2.5

③ 接続プロファイル・ネットワークの設定（PPP設定、TCP/IP設定）

図 3-2.4 で表示させた「mopera プロパティ」において、「ネットワーク」タブをクリックしてネットワークの設定を行います。

「mopera プロパティ」の「ネットワーク」タブにおいては、以下の項目を設定・確認します。

- a) 呼び出すダイヤルアップサーバの種類（PPP）設定
- b) インターネットプロトコル（TCP/IP）設定

a) 呼び出すダイヤルアップサーバの種類（PPP）設定

「呼び出すダイヤルアップサーバの種類」について、「PPP: Windows 95/98/NT/2000, Internet」を選択し、「設定」ボタンをクリックします（図 3-3.1）。

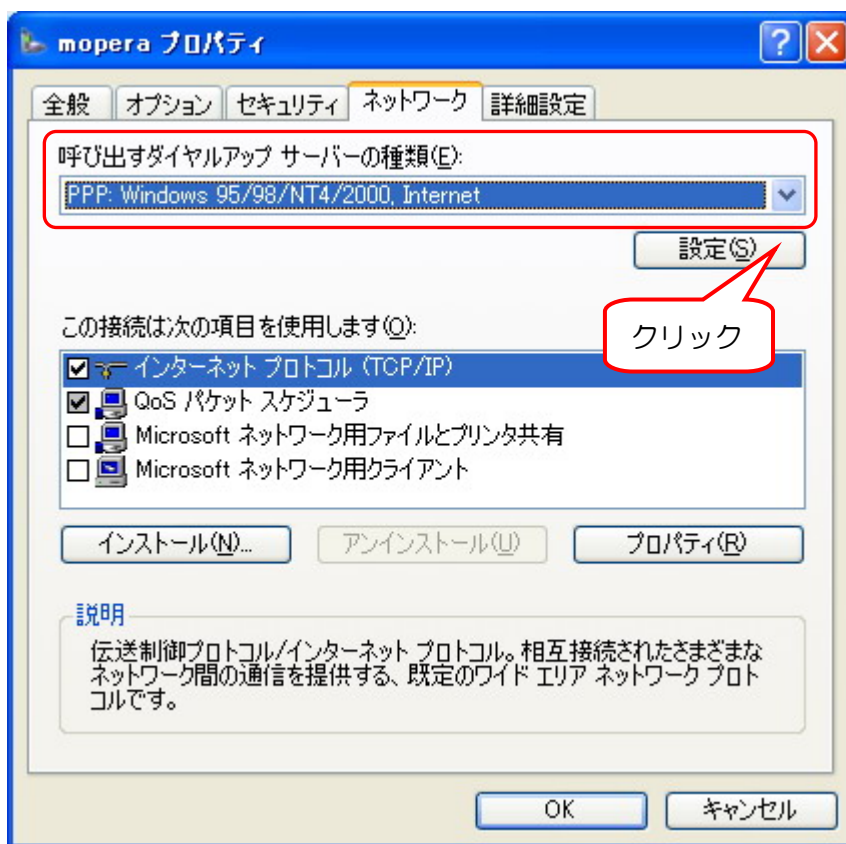


図 3-3.1

表示された「PPP 設定」において、「LCP 拡張を使う」と「ソフトウェアによる圧縮を行う」のチェックを外してください。全てのチェックボックスが未チェックであることを確認して、「OK」ボタンをクリックしてください。（図 3-3.2）

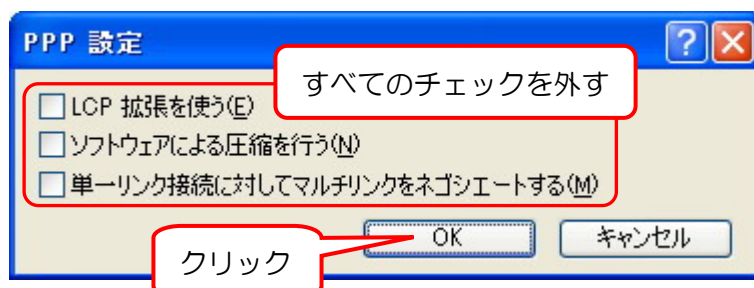


図 3-3.2

b) インターネットプロトコル (TCP/IP) 設定

「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し「プロパティ」ボタンをクリックします
(図 3-3.3)。

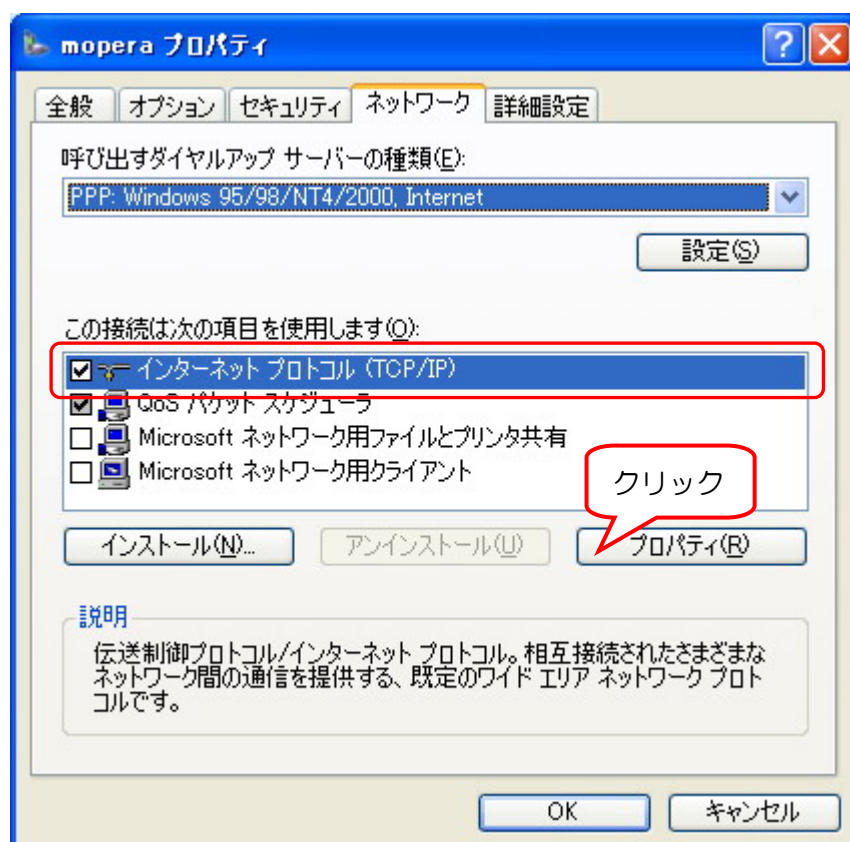


図 3-3.3

表示された「インターネット プロトコル (TCP/IP) のプロパティ」において、「**IP アドレスを自動的に取得する**」と「**DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する**」のラジオボタンがチェックされていることを確認してください。

それぞれのラジオボタンがチェックされていない場合には、図 3-3.4 を参考にそれぞれを設定してください。

※ドコモの「mopera」以外の ISP を利用してダイヤルアップ接続を行う場合には、利用する ISP が定めるセットアップ方法にしたがって「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」を設定してください。

※装置ネットワークなど限定されたネットワークに接続する場合には、該当するネットワークの設定方法にしたがって「インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ」を設定してください。

設定を確認したら、「OK」ボタンをクリックしてください（図 3-3.4）。

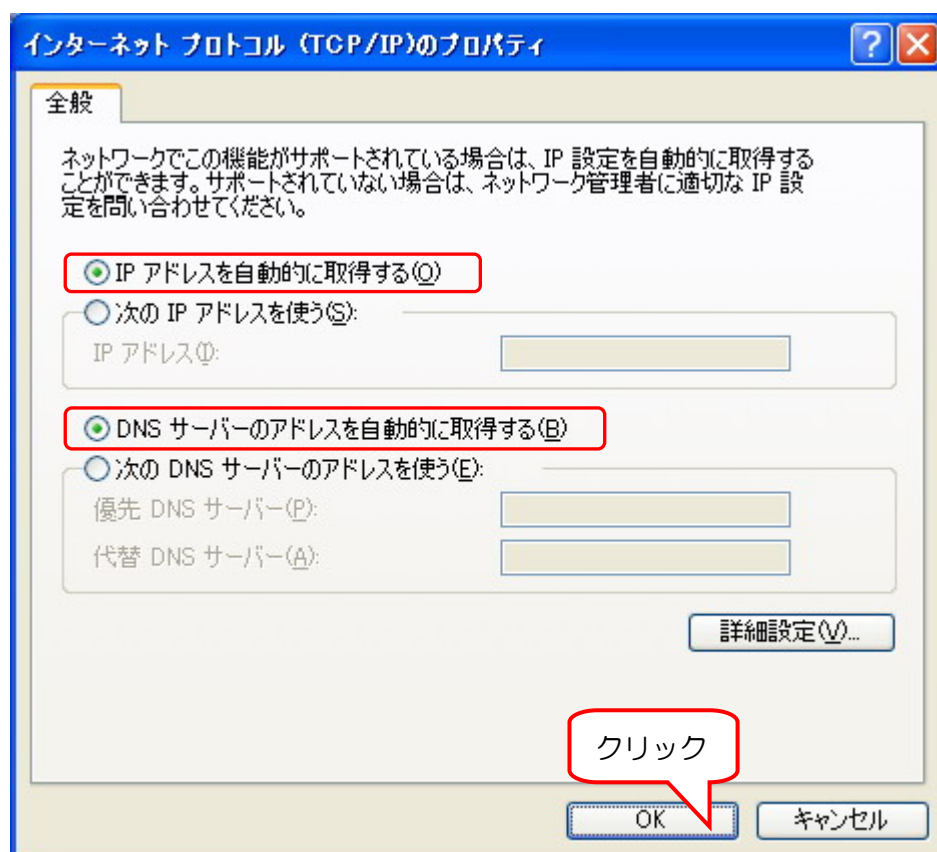


図 3-3.4

以上で「3.モデム設定・接続プロファイルの設定・確認」が完了しました。

「OK」ボタンをクリックして、「mopera プロパティ」ウィンドウを閉じてください。

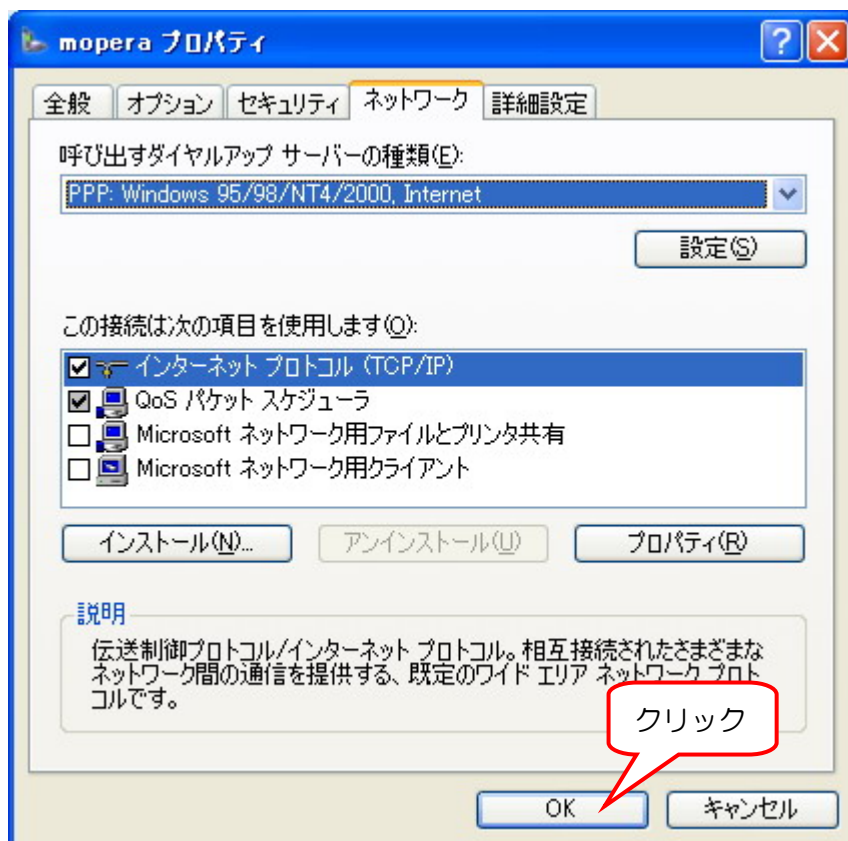


図 3-4

本取扱説明書およびモデムセットアップ情報ファイル（UM02-KO.INF）の著作権は株式会社日立国際電気に帰属します。株式会社日立国際電気の許可なく、本書の一部または全部を複製、改変、公衆送信することは、著作権法上、禁止されております。

FOMA ユビキタスモジュール（FOMA UM02-KO）
PC へのインストールおよびダイヤルアップ接続 設定手順書
'08. 10（第1.0 版）

Copyright(c) 2008 Hitachi Kokusai Electric Inc. All rights reserved.